

中城湾港港湾計画資料(その1)

— 改訂 —

令和4年3月

中城湾港港湾管理者
沖 縄 県

目 次

I. 港湾計画の方針に関する資料	1
1 港湾の沿革、現況	1
1. 1 港湾の位置	1
1. 2 港湾の沿革	2
1. 3 港湾の性格及び役割	3
1. 4 港湾周辺の交通網	10
1. 5 背後地域の状況	11
2 港湾への要請	13
2. 1 港湾を取り巻く環境	13
2. 2 中城湾港の現状	13
2. 3 中城湾港の課題	14
2. 4 中城湾港の将来像	14
2. 5 目標年次	15
3 港湾計画の範囲及び港湾空間の利用	16
3. 1 港湾計画の範囲	16
3. 2 港湾空間利用ゾーニング	17
II. 港湾の能力に関する資料	19
1 取扱貨物量	19
1. 1 取扱貨物量の推移	19
1. 2 定期航路の現況等	29
1. 3 取扱貨物量の設定	30
2 入港船舶	44
2. 1 船舶の利用状況	44
2. 2 入港船舶の隻数の設定	45
3 船舶乗降旅客数等	46
3. 1 船舶乗降旅客数等の設定方針	46
3. 2 船舶乗降旅客数等の設定	47
III. 港湾施設の規模及び配置に関する資料	48
1 公共埠頭計画	48
2 旅客船埠頭計画	56
3 フェリー埠頭計画	60
4 専用埠頭計画	62
5 水域施設計画	63
5. 1 航路計画	63
5. 2 泊地計画	64
5. 3 航路・泊地計画	66

6	外郭施設計画	83
6.1	防波堤計画	83
7	小型船だまり計画	92
8	マリーナ計画	106
9	臨港交通施設計画	117
IV.	港湾の環境の整備及び保全に関する資料	125
1	港湾環境整備施設計画	125
V.	土地造成及び土地利用計画に関する資料	134
1	土地造成計画	134
2	土地利用計画	140
3	海浜計画	147
4	臨港地区の範囲	148
5	地盤高	153
VI.	港湾の効率的な運営に関する資料	157
1	効率的な運営に関する事項	157
2	外航旅客の良好な受入環境を形成する区域	157
VII.	その他重要事項に関する資料	158
1	国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点として機能するために必要な施設	158
2	港湾及び港湾に隣接する地域の保全	160
3	大規模地震対策施設計画	161
4	その他港湾の開発、利用及び保全に関する事項	165
VIII.	その他の資料	166
1	港湾区域の範囲	166
2	港湾の周辺状況	167
2.1	経済的・社会的条件	167
2.2	自然条件	174
3	港湾の沿革	184
4	港湾施設の現況	185
5	過去における港湾計画等の概要	193
6	新旧法線対照図	234
7	沖縄県地方港湾審議会委員名簿	237

I. 港湾計画の方針に関する資料

1 港湾の沿革、現況

1. 1 港湾の位置

中城港湾は、日本本土と東アジアを結ぶ南西諸島のほぼ中間、沖縄本島東海岸の北緯 26° 15'、東経 127° 50' に位置する。県都那覇市からの陸上距離は、本港北部の新港地区（うるま市）まで約 28km、本港南部の西原与那原地区（与那原町）まで約 11km、安座真地区（南城市）まで約 20km となっている。また中城湾港新港地区からの海上距離は、那覇港まで約 85km、平良港（宮古島市）約 343km、石垣港（石垣市）約 446km である。

中城湾港の位置は、図 I. 1. 1 に示すとおりである

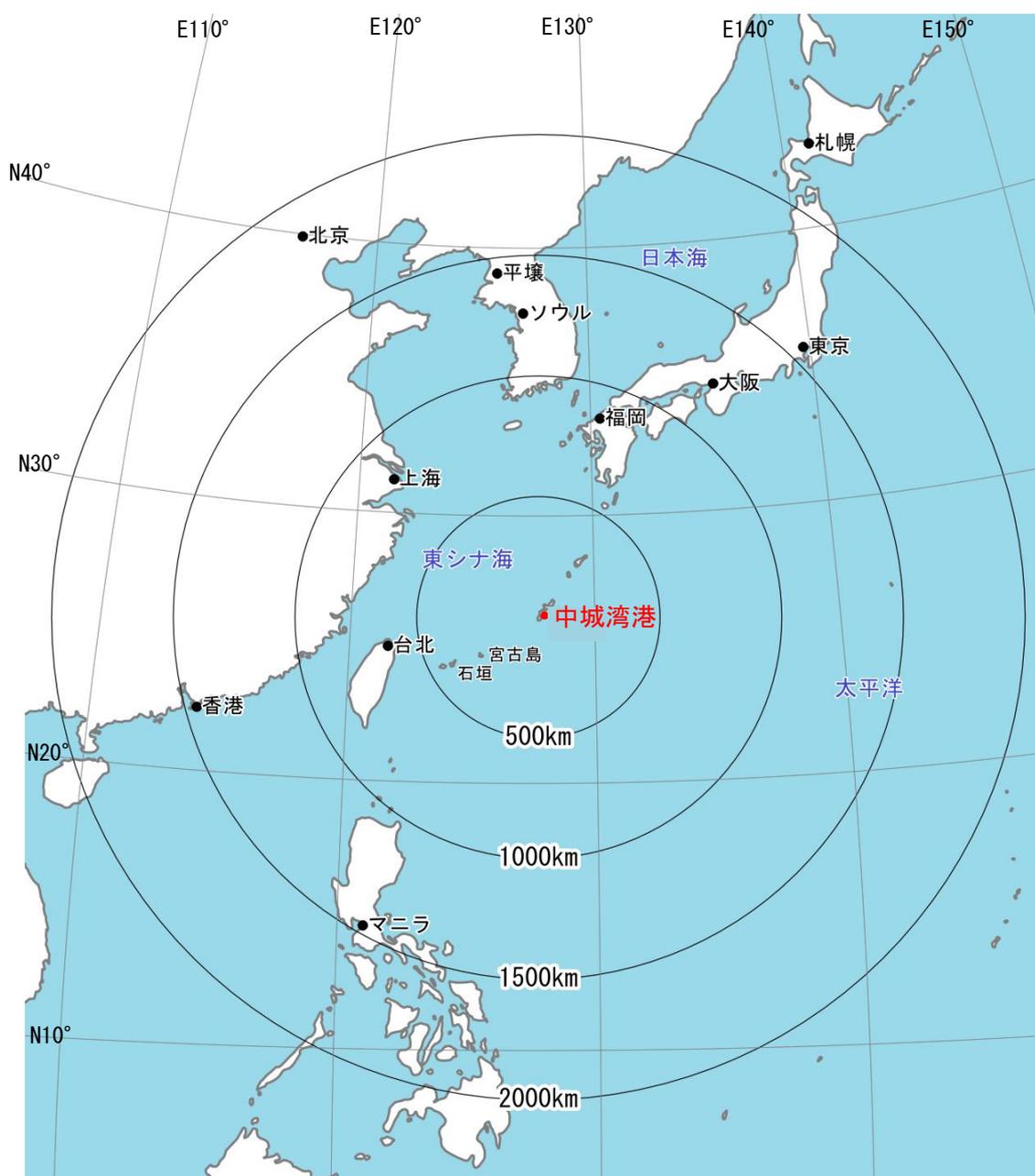


図 I. 1. 1 中城湾港の位置

1. 2 港湾の沿革

中城湾港は、沖縄本島中南部の東海岸に位置し、北の勝連半島から南の知念半島まで、3市2町2村にまたがるおよそ24,000haの広大な海域を有する港湾である。

古くは、沖縄本島中北部との間に山原船(やんばるせん)が運航し、泡瀬や与那原、馬天を中心として交易の拠点として利用されていた。

昭和40年代に入ると、東洋石油、エッソスタンダード石油(現在の南西石油(株))等が進出し、大規模な石油基地の整備が進められ、大型港湾としての発展の期待が高まった。

沖縄の本土復帰とともに、琉球政府から沖縄県に移管され、その後大型港湾の適地としての開発計画が検討され、昭和49年4月には重要港湾に指定された。

昭和55年7月には、中城湾港開発基本計画を策定し、沖縄振興開発計画に掲げる沖縄経済の自立的発展を図るための拠点として、流通加工港湾の整備が位置付けられ、これを踏まえ昭和56年3月に港湾計画の改訂を行った。

その後、平成2年8月には、流通加工港湾としての整備を引き続き推進するとともに、地域住民の海洋性レクリエーション活動の場や新たな市街地の整備等の多様な要請に対応するため、新港地区開発の見直し、マリンタウンプロジェクト計画(西原与那原地区、佐敷東地区^{※1}、知念地区)等を含む港湾計画の改訂を行った。

また、平成7年11月には、本島中部圏の活性化、観光リゾート振興のための戦略的な国際交流リゾートの拠点として泡瀬地区開発計画が港湾計画に位置づけられた^{※2}。

平成11年には、新港地区の工業用地、約122haが特別自由貿易地域に指定され、港湾機能を活用した新たな産業と雇用の場の創出が図られた。

平成26年6月には、特別自由貿易地域を拡充する形で、国際物流拠点産業集積地域(うるま・沖縄地区)として約362haに拡大し、高付加価値ものづくり産業等の立地促進が図られることとなった。

近年では、西原与那原地区において大型MICE施設を核とするまちづくり計画が検討されており、また新港地区において大型クルーズ船の寄港や、大型船舶によるバイオマス発電所の燃料輸入など、社会経済情勢の変化を反映した新しい動きが見られる。

※1 平成10年3月に、佐敷東地区の港湾計画を一部変更し、計画の縮小を行った。

※2 平成23年3月に、港湾計画を一部変更し、計画の縮小を行った。

1. 3 港湾の性格及び役割

(1) 中城湾港の特徴

中城湾港はおよそ 24,000ha の広大な海域に 13 の地区を有しており、各地区の特徴を踏まえた整備が進められてきた。特に新港地区においては、流通機能及び生産機能を合わせ持った流通加工港湾として整備が進められており、このほか、県内外との静脈物流の拠点として、また近年は本島東海岸唯一の大型クルーズ船の寄港地としての役割を担っている。

このほか、本島の主要な電力、石油等のエネルギー供給拠点や海洋性リゾートを活かした交流・賑わいの場として、また本島と周辺離島とを繋ぐ物流・人流拠点や地元の漁業振興を支援する場として利用されている。

- 3市2町2村にまたがるおよそ 24,000ha の広大な海域を有する港湾
- 流通機能及び生産機能を合わせ持った流通加工港湾
- 県内外との静脈物流の拠点
- 海洋性リゾート基地、本島東海岸唯一の大型クルーズ船の寄港地
- 電力、石油等のエネルギー供給拠点

【本部港】(特定地域振興重要港湾)

- ・北部圏域の物流・人流拠点
- ・国際旅客船拠点形成港湾

【運天港】(重要港湾)

- ・北部離島への人流拠点
- ・沖縄本島海域で唯一の天然の避泊地

【金武湾港】(重要港湾)

- ・エネルギー関連企業(電力・石油)、セメント企業の立地

【那覇港】(重要港湾)

- ・物流・人流の中心的な拠点港湾
- ・国際旅客船拠点形成港湾

【中城湾港】(重要港湾)

- ・生産機能と流通機能を有する流通加工港湾
- ・リサイクルポート、穀物(飼料)の受入拠点
- ・エネルギー関連企業(電力・石油)の立地
- ・クルーズ船や大型プレジャーボートが来訪する国際交流拠点

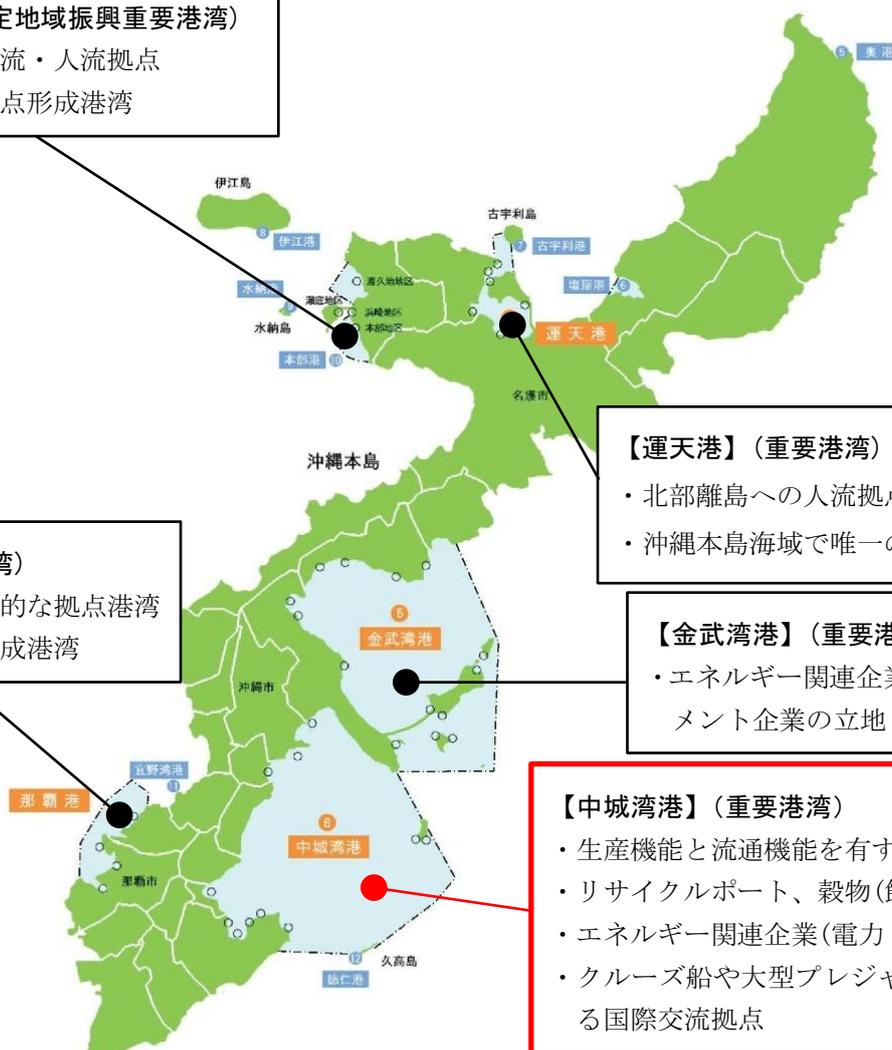


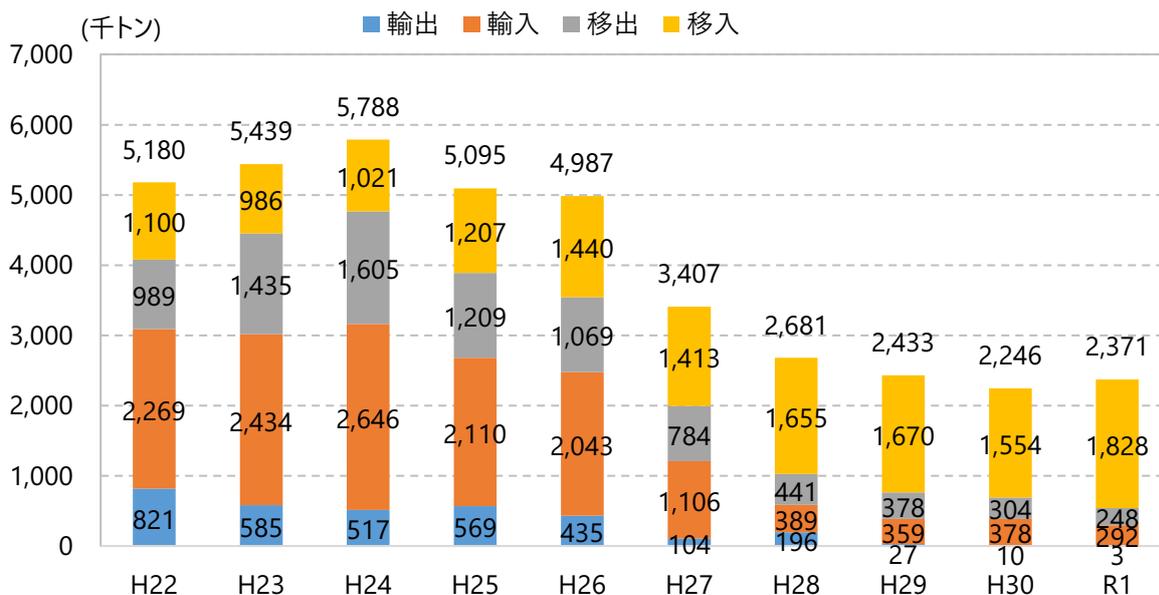
図 I. 1. 2 中城湾港周辺の重要港湾等

(2) 取扱貨物量の現状

中城湾港の取扱貨物量は、民間企業が石油精製事業から撤退したことにより、専用貨物が平成26年以降急激に減少している一方で、公共貨物は増加傾向にあり、平成22年からの10年間で約1.7倍に増加している。

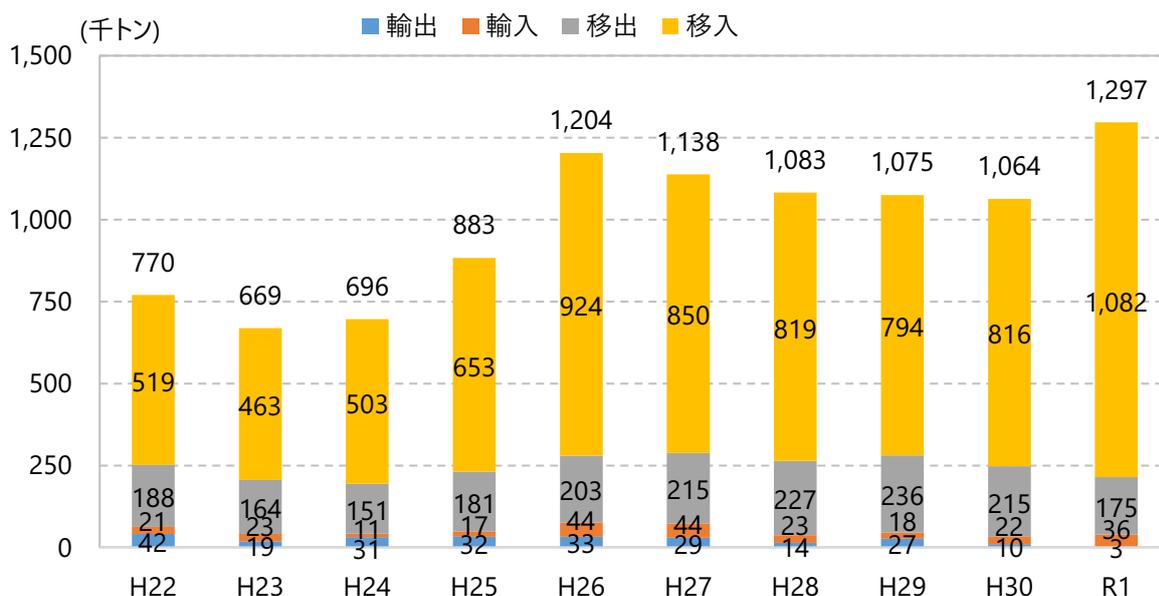
令和元年の取扱貨物量は237万トンであり、主な取扱貨物は砂利・砂や揮発油、LNG、その他の石油、動植物性製造飼肥料、重油が多数を占めている。

このうち、専用施設における取扱貨物量は107万トンで中城湾港全体の約45%を占めている。



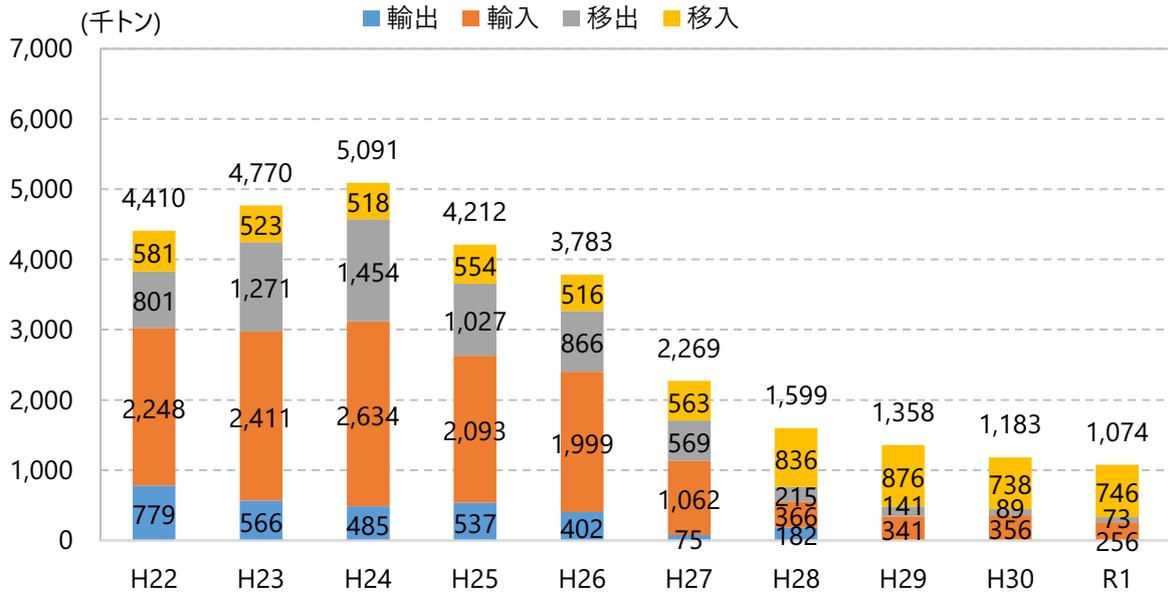
資料：港湾統計年報(国土交通省)、沖縄県港湾課資料

図 I. 1. 3 中城湾港の取扱貨物量の推移



資料：港湾統計年報(国土交通省)、沖縄県港湾課資料

図 I. 1. 4 中城湾港の取扱貨物量（公共）の推移



資料：港湾統計年報(国土交通省)、沖縄県港湾課資料

図 I. 1. 5 中城湾港の取扱貨物量（専用）の推移

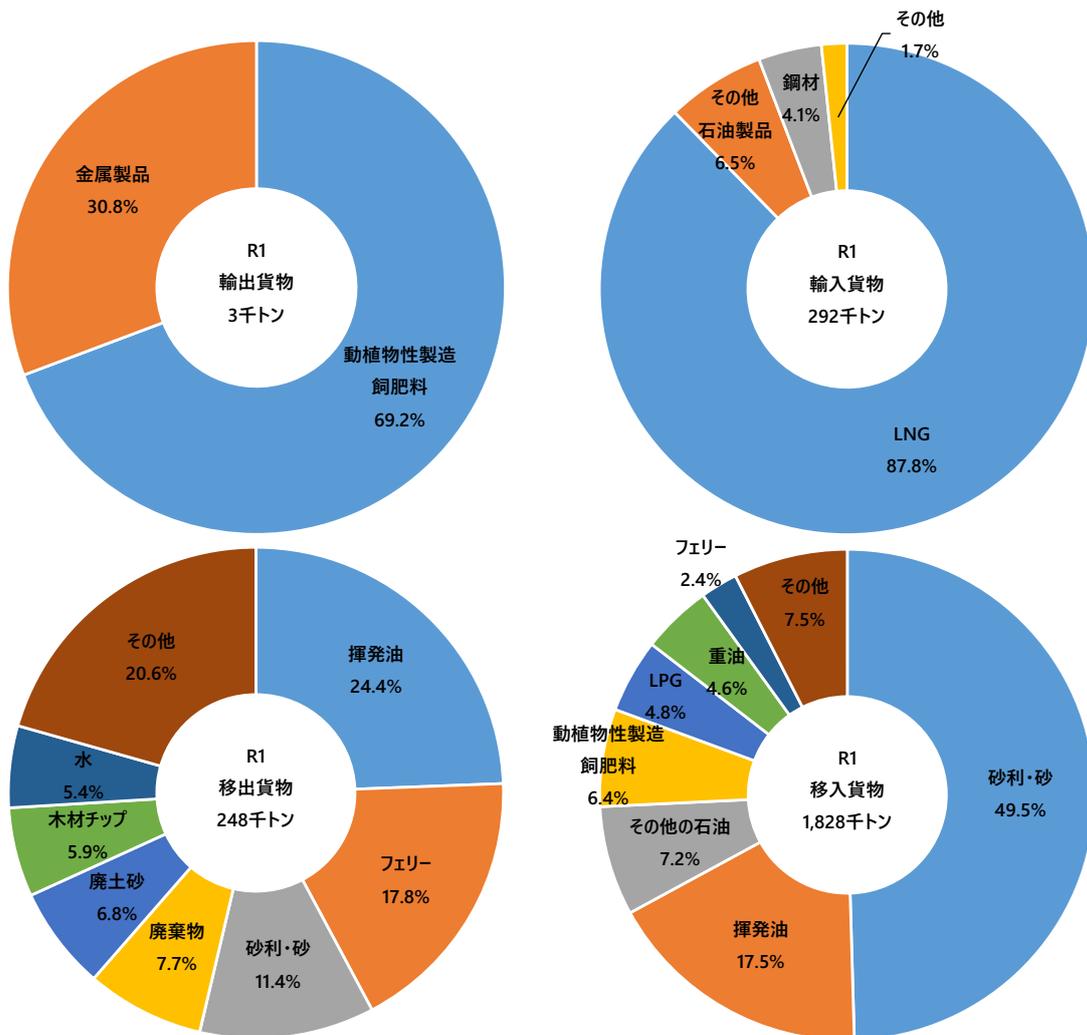


図 I. 1. 6 中城湾港の輸移出入別の品目別取扱量比率（令和元年）

(3) 各地区の現況

各地区の現況は次のとおりである。

表 I. 1. 1 (1) 各地区の概要

地区名	施設現況及び取扱主要品目	利用状況
新港地区	○主要施設(公共埠頭) -13m×1B、-11m×1B、-10m×1B、 -7.5m×8B、-5.5m×3B ○主要取扱貨物 鋼材、製材、砂利・砂、動植物性製 造飼肥料等	<ul style="list-style-type: none"> 平成3年から平成6年にかけて西ふ頭岸壁が公共ふ頭として供用開始。 平成15年度に循環資源の輸送拠点としてリサイクルポートに指定。 平成26年度には国際物流拠点産業集積地域(うるま・沖縄地区)に指定。 平成28年度に東ふ頭岸壁(-7.5m、-11m)が公共ふ頭として供用開始。
泡瀬地区	現在、工事中	<ul style="list-style-type: none"> 平成14年度に海上工事に着手。 平成25年度に連絡橋(臨港道路泡瀬1号線)工事に着手。
熱田地区	○主要施設(小型船だまり) 物揚場-2~-2.5m×300m	<ul style="list-style-type: none"> 主に地元の漁業者が利用。
中城地区	○主要施設(専用埠頭) -14m×1B、-4m×1B ○主要取扱貨物 LNG、砂利・砂等	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー拠点等として民間企業が利用。
小那覇地区	○主要施設(専用埠頭) -26m×1B、-14m×1B、-17m×1B、 -6.5m×1B ○主要取扱貨物 重油、石油製品等	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー拠点として民間企業が利用。
西原与那原地区	○主要施設 (小型船だまり) 物揚場-2.5~-3m×610m (旅客船埠頭) 物揚場-3m×60m (マリーナ) 小型さん橋 4基	<ul style="list-style-type: none"> 平成8年に埋立工事に着手し、平成13年度から用地分譲を開始。 平成19年度に西原マリンパークが開園し、交流・賑わいの場として県民等が利用。 平成28年度に与那原マリーナが供用開始し国内外のプレジャーボートが利用。 大型MICE施設の建設予定地となっている。
馬天地区	○主要施設(小型船だまり) -4.5m×1B 物揚場-2~-3m×410m	<ul style="list-style-type: none"> 主に地元の漁業者が利用。
佐敷東地区	未整備	

表 I. 1. 1 (2) 各地区の概要

地区名	施設現況及び取扱主要品目	利用状況
仲伊保地区	<p>○主要施設 (小型船だまり) 物揚場-2m×100m (専用埠頭) -6m×1B、-5.5m×1B</p> <p>○主要取扱貨物(専用埠頭) LPG、砂利・砂等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小型船だまりは、主に地元の漁業者が利用。 ・専用埠頭はエネルギー拠点等として民間企業が利用。
知念地区	未整備	
安座真地区	<p>○主要施設 (フェリー・旅客船埠頭) 物揚場-2.5m×55m 小型さん橋 1基 (小型船だまり) 物揚場-2m×50m</p> <p>○主要取扱貨物 フェリー貨物等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・久高島への物流・人流の拠点として利用。 ・小型船だまりは、主に地元の漁業者が利用
津堅地区	<p>○主要施設 (フェリー・旅客船埠頭) 物揚場-3m×120m 小型さん橋 1基 (小型船だまり) 物揚場-2.5m×180m</p> <p>○主要取扱貨物 フェリー貨物等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・津堅島の物流・人流の拠点として利用。 ・小型船だまりは、主に地元の漁業者が利用。
アギ浜地区	<p>○主要施設(小型船だまり) 物揚場-2.5m×100m</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主に地元の漁業者が利用。

(4) 企業の立地状況

本港周辺における主要企業は、図 I.1.7 及び図 I.1.8 に示すとおりである。



資料：「2021-2022 沖縄県企業立地ガイド (令和3年3月)」 沖縄県商工労働部企業立地推進課

図 I.1.7 中城湾港新港地区における企業立地状況



図 I. 1. 8 中城湾港における企業立地状況（専用施設）

1. 4 港湾周辺の交通網

中城湾港背後には、海岸沿いを国道 329 号及び国道 331 号が、沖縄本島のほぼ中央を沖縄自動車道が南北に通っており、これらの道路と有機的に接続する東西連絡道路の計画・整備を実施している。

東西を連絡する道路整備の推進により、中城湾港沿岸地域から那覇港を含む西海岸地域へのアクセス性が向上するなど、道路ネットワークの形成が着実に図られている。



資料：ハシゴ道路の整備計画（出典：「沖縄県の道路 2021（沖縄県土木建築部）」を加筆）

図 I. 1. 9 中城湾港背後の道路交通ネットワーク図

1. 5 背後地域の状況

(1) 背後地域

沖縄本島には、那覇港・中城湾港・金武湾港及び運天港の4つの重要港湾がある。そのうち、那覇港が沖縄県全域の主要な物流・人流拠点港として機能しており、中城湾港はこれまで、エネルギー港湾としての機能の他、津堅島や久高島への連絡港及び地元漁業の拠点地としての機能を果たしてきた。近年、新港地区の人工島全体が国際物流拠点産業集積地域（うるま・沖縄地区）に指定されたことから、高付加価値ものづくり産業等の企業立地が進展しており、新たな産業と雇用の場の創出が図られている。

また中城湾港は、背後地域が3市2町2村（うるま市、沖縄市、北中城村、中城村、西原町、与那原町、南城市）にまたがる広大な港湾であり、各地域において新たな交流・賑わいを創出する新たなまちづくりが進められている。

(2) 人口動向

沖縄県の人口は昭和50年に100万人を超え、平成27年には143万人に達した。また、人口の増減率では、昭和50年以降は全国の人口増減率よりも高い水準で推移しており、平成27年には全国は減少に転じたのに対し、沖縄県は増加で推移している。

(3) 産業動向

① 就業動向

労働力人口は令和元年で746千人、労働力人口比率は61.9%となっている。

また、沖縄県の完全失業率は令和元年で2.7%であり、全国の2.4%を0.3%上回っている。

表 I. 1. 2 沖縄県の労働力人口および完全失業率の推移

単位：千人、%

年次	15歳以上人口	労働力人口	就業者数			非労働力人口	労働力人口比率	完全失業者		
			総数	農林業	非農林業			完全失業者数	完全失業率(沖縄県)	完全失業率(全国)
S50	715	397	376	58	318	317	55.6	21	5.3	1.9
S55	782	453	431	55	376	328	57.9	23	5.1	2.0
S60	849	502	477	53	424	346	59.1	25	5.0	2.6
H 2	914	561	539	54	485	352	61.4	22	3.9	2.1
H 7	987	571	538	38	500	414	57.9	33	5.8	3.2
H12	1,059	629	579	37	542	430	59.4	50	7.9	4.7
H17	1,112	649	598	27	571	463	58.4	51	7.9	4.4
H22	1,140	673	622	33	589	467	59.0	51	7.6	5.1
H27	1,178	700	664	27	637	478	59.4	36	5.1	3.4
H30	1,199	732	707	26	681	467	61.1	25	3.4	2.4
R 1	1,206	746	726	29	697	459	61.9	20	2.7	2.4

資料：労働力調査(沖縄県)

注：統計表の数値は端数整理および総数に分類不能の値を含むため、総数と内訳の合計は必ずしも一致しない。

②工業

沖縄県の工業統計調査によると、令和元年における県全体の事業所数は1,113事業所、従業員数は26,706人、製造品出荷額は約4,986億円である。

背後圏においては、事業所数で県全体の約34%、同様に従業員数で約38%を占めている。

表 I. 1. 3 背後地域の状況

単位：人、万円

区分		沖縄県 (A)	背後圏 (B)	シェア (B/A)	沖縄市	うるま市	北中城村	中城村	西原町	南城市	与那原町
S55	事業所数	2,546	565	22.2%	236	184	14	11	57	36	27
	従業者数(人)	24,493	6,677	27.3%	1,652	1,889	262	397	1,894	407	176
	製造品出荷額等(万円)	58,981,282	35,342,958	59.9%	1,460,195	12,697,530	209,753	6,065,557	13,979,571	820,519	109,833
S60	事業所数	2,870	657	22.9%	243	195	15	17	75	85	27
	従業者数(人)	26,564	8,145	30.7%	1,874	1,987	368	504	2,507	665	240
	製造品出荷額等(万円)	58,085,030	25,763,354	44.4%	2,156,171	8,215,365	269,549	2,373,223	11,349,028	1,310,435	89,583
H2	事業所数	3,052	677	22.2%	247	192	16	26	85	87	24
	従業者数(人)	27,988	8,274	29.6%	1,854	1,970	341	657	2,394	874	184
	製造品出荷額等(万円)	54,978,181	18,841,056	34.3%	2,111,683	4,625,176	283,906	1,854,594	8,321,944	1,548,564	95,189
H7	事業所数	2,829	661	23.4%	228	182	23	29	90	79	30
	従業者数(人)	28,352	9,163	32.3%	2,001	2,242	364	551	2,960	833	212
	製造品出荷額等(万円)	53,587,799	20,250,243	37.8%	3,150,864	5,201,620	281,565	910,248	8,754,518	1,825,576	125,852
H12	事業所数	2,767	658	23.8%	220	168	19	29	100	92	30
	従業者数(人)	27,673	8,989	32.5%	1,959	1,891	359	501	3,117	984	178
	製造品出荷額等(万円)	65,587,117	31,999,401	48.8%	3,481,946	11,443,881	198,095	758,480	13,834,174	2,161,811	121,014
H17	事業所数	2,752	632	23.0%	175	196	12	29	104	89	27
	従業者数(人)	26,869	8,886	33.1%	1,512	2,565	84	570	2,903	1,121	131
	製造品出荷額等(万円)	52,403,251	26,631,705	50.8%	3,406,889	3,108,337	34,704	737,816	17,162,168	2,085,338	96,453
H22	事業所数	1,262	403	31.9%	102	131	4	24	82	50	10
	従業者数(人)	24,830	9,190	37.0%	1,417	2,765	74	518	3,262	1,071	83
	製造品出荷額等(万円)	56,546,014	31,573,645	55.8%	3,654,526	3,540,290	32,314	922,979	21,189,496	2,139,758	94,282
H27	事業所数	1,239	391	31.6%	84	128	5	27	78	59	10
	従業者数(人)	23,558	8,622	36.6%	1,352	2,851	84	458	2,601	1,182	94
	製造品出荷額等(万円)	54,406,939	26,313,516	48.4%	3,714,691	4,387,208	X	970,282	14,551,812	2,560,578	128,945
H29	事業所数	1,116	381	34.1%	85	139	4	25	69	48	11
	従業者数(人)	24,760	9,736	39.3%	1,538	3,394	79	561	2,973	1,076	115
	製造品出荷額等(万円)	44,846,026	18,490,275	41.2%	4,067,412	5,951,565	50,369	1,387,850	4,272,812	2,553,639	206,628
H30	事業所数	1,118	384	34.3%	81	144	4	28	69	46	12
	従業者数(人)	26,042	10,082	38.7%	1,570	3,647	85	704	2,852	1,099	125
	製造品出荷額等(万円)	47,986,527	19,286,250	40.2%	4,428,449	6,151,273	48,755	1,529,948	4,341,338	2,613,992	172,495
R1	事業所数	1,113	377	33.9%	79	144	3	28	65	48	10
	従業者数(人)	26,706	10,071	37.7%	1,509	3,642	84	718	2,871	1,126	121
	製造品出荷額等(万円)	49,856,280	-	-	-	-	-	-	-	-	-

資料：沖縄県統計資料WEBサイト「工業統計調査」

注：令和元年度の市町村別は未公表(令和4年1月時点)

注：事業所数は、従業者3人以下の事業所を除く

注：統計表中「x」印は秘匿の数値。集計対象となる事業所が1又は2であるため、集計結果をそのまま公表すると個々の報告者の秘密が漏れるおそれがある場合に該当数値を秘匿した箇所である。また、集計対象が3以上の事業所に関する数値であっても、集計対象が1又は2の事業所の数値が合計との差引きで判明する箇所は、併せて「X」とした。なお、従業者数については、平成17年8月以降の公表より秘匿を解除している。

2 港湾への要請

2. 1 港湾を取り巻く環境

近年、グローバル化の進展に伴い、ヒト・モノ・情報の流れに大きな変化が生じている。特に製造業では、多くの民間企業等が国境を越えた国際分業体制を構築し、高度なサプライチェーンマネジメントを展開するようになっている。

また、製造業のサプライチェーンは分散化・階層化が進んでおり、それを支えるため、最新の情報通信技術を活用した革新的なロジスティクスサービスを展開する動きも始まっている。

国内では、今後さらに加速する少子高齢化や、それに伴う人口減少・労働力不足は、国内物流にも変革を促し、競合企業同士の連携による共同調達・共同輸送、船舶・鉄道輸送へのモーダルシフト等の輸送の効率化が進みつつある。

都市と地方の関係を見ると、首都圏をはじめとした大都市圏へ人口・資産が集中した結果、交通混雑・災害リスクが増大する一方で、地方においては人口・資産の流出による活力の低下が懸念されている。そのため、産業の国際競争力の強化等により地域の人口減少と地域経済の縮小という課題を克服し、将来にわたって地域の成長力を確保することが求められている。

さらには、深刻化する地球環境問題に対して、世界と協調した取組がこれまで以上に求められるとともに、首都直下地震や南海トラフ地震・津波などによる大規模災害の発生が高い確率で予想されている我が国においては、大規模自然災害等に備えた国土の全域にわたる強靱な国づくりを推進し、社会経済活動を持続可能なものとするとともに、国民の安全・安心を守ることが、引き続き強く要請されている。

島しょ県である沖縄県は、貨物輸送の95%以上を海路に依存しており、港湾及び海運は本県の物流を支える上で重要な経済・産業基盤である。

近年は、沖縄県への入域観光客数の増加により、県内の物流量も大幅に増加しており、観光と物流の相関性は高いことから、更なる観光振興を進める上では、物流量増大への対応も一体となって進める必要がある。

一方で、沖縄県においても海運関係事業者の労働人口は、減少・高齢化傾向にあり、将来の労働力不足が懸念されることから、今後の港湾行政の展望にあたっては、海運関係事業者の持続的発展に資するよう、港湾物流業務の合理化・生産性向上の視点も重要となっている。

2. 2 中城湾港の現状

中城湾港は、沖縄の本土復帰とともに琉球政府から沖縄県に移管され、その後大型港湾の適地としての開発計画が検討された後、昭和49年4月に重要港湾に指定された。

昭和55年に中城湾港開発基本計画を策定し、沖縄振興開発計画に掲げる沖縄経済の自立的発展を図るための拠点として流通加工港湾の整備が位置付けられ、新港地区において土地造成（工業用地）や港湾施設の整備を推進してきた。その結果、平成15年4月に総合静脈物流拠点港（リサイクルポート）に指定され、県内のリサイクル拠点及び循環資源輸送の中継拠点の役割を担うほか、平成26年6月に国際物流拠点産業集積地域（うるま・沖縄地区）に指定され、高付加価値ものづくり産業等の企業立地が進展し、新たな産業と雇用の場の創出が図られている。

地域住民の海洋性レクリエーション活動の場や新たな市街地の整備等の多様な要請に対応するため、マリントウンプロジェクトとして西原与那原地区において、土地造成（都市機能用地、交

流厚生用地等) や人工海浜、緑地、マリーナ等の港湾施設の整備を推進してきた結果、新しいまちが形成され、県民や観光客に親しまれる快適なウォーターフロント空間とともに、地域の活力創出が図られている。

また、港湾内にはエネルギー関連産業が立地しており、県内の主要なエネルギー輸送拠点として、県民の暮らしや経済の持続可能な発展に貢献している。

更に、離島航路の安定運航や漁業活動等を支える小型船だまりは、地域住民の暮らし、産業を支える重要な社会基盤として機能している。

2. 3 中城湾港の課題

中城湾港は、沖縄本島中南部東海岸地域の重要な経済基盤として、国内外の物流・産業拠点、交流・賑わい拠点等を担う重要な役割を果たしているが、中城湾港を取り巻く新たな社会経済情勢の変化や諸要請への対応が求められている。

具体的に、物流・産業面では、新港地区及び背後圏において国際物流拠点産業集積地域(うるま・沖縄地区)への立地企業の増加、自動車関連産業の集積、バイオマス発電所の立地など、これらの企業活動を支援する物流機能の強化や効率的なサプライチェーンの形成を図る取り組みが求められている。

交流・賑わい面では、新港地区においてクルーズ船の寄港が増加し、西原与那原地区の与那原マリーナでは大型プレジャーボートが寄港するなど、国際交流拠点としての機能強化を図ることが求められている。また、西原与那原地区において、大型 MICE 施設を中心とした魅力あるまちづくりが検討されているほか、泡瀬地区においても社会経済情勢の変化を踏まえた土地利用計画の調査・検証が行われており、新たな交流拠点機能の形成に取り組むことが求められている。佐敷東地区、知念地区については、自然環境の保全や土地需要の変化等を踏まえた土地造成計画、土地利用計画の見直しを行い、新たなまちづくり計画への対応を図ることが求められている。

安全・安心面では、島しょ県である本県の港湾は海上輸送の重要な拠点であることから、切迫性が指摘されている大規模地震・津波対策への対応はもとより、高潮・高波・暴風による災害の頻発化、激甚化への対応を図ることが求められている。

持続可能な地域を形成する観点では、SDGs(持続可能な開発目標)の達成や ESG 投資(環境、社会、ガバナンス要素も考慮した投資)への関心が高まる中、環境との共生・調和に向けた取り組みのほか、カーボンニュートラルへの対応を図るため脱炭素エネルギーの受入拠点や脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化が求められている。

2. 4 中城湾港の将来像

中城湾港の課題を踏まえ、計画の基本理念は、「沖縄らしい新たな価値を創造する臨港都市・東海岸サンライズポート」とする。

また、「物流・産業」、「交流・賑わい」、「安全・安心」「持続可能な地域」の4つの観点から、上記基本理念を実現するために以下の方針を定め、港湾計画を改訂する。

(1) 自立型経済の構築を支える物流・産業拠点

①東海岸地域の生産拠点の形成、生産性向上に寄与する産業支援港湾としての機能強化・拡

充

- ②那覇港との連携・役割分担を図りつつ、流通拠点としての安定的・効率的な物流環境の創造
- (2) 地域資源を活かしたアジアの誇れる国際交流拠点
- ①多彩で高付加価値の国際観光・交流拠点の形成
 - ②観光・交流拠点の形成とブランド価値を生む親水空間の提供
- (3) 暮らし・仕事・観光の安全・安心を支える中城湾
- ①平時から様々な用途で安心して利用できる港湾環境の整備
 - ②災害に強い海上輸送ネットワーク機能の強化、確保
- (4) 経済・社会・環境が統合的に向上した持続可能な中城湾
- ①良好な港湾環境の維持、生物多様性の保全等による環境との共生・調和
 - ②脱炭素社会・循環型社会に貢献する港湾活動の推進

2. 5 目標年次

中城湾港への要請や内外の諸情勢の変化に的確に対応するため、計画目標年次を2030年代半ばとする。

3 港湾計画の範囲及び港湾空間の利用

3.1 港湾計画の範囲

中城湾港の港湾計画の範囲は、陸域 602ha と水域 23,958ha からなる臨海部の空間であり、図 I.3.1 に示すとおりである。

表 I.3.1 港湾計画の範囲

区分	範囲	面積
水域	知念崎(北緯 26 度 09 分 42 秒、東経 127 度 49 分 58 秒)から、久高島燈台(北緯 26 度 09 分 09 秒、東経 127 度 53 分 12 秒)まで引いた線、同点からブイ No.1(北緯 26 度 12 分 06 秒、東経 127 度 57 分 18 秒)まで引いた線、同点からセンターブイ(北緯 26 度 13 分 06 秒、東経 127 度 58 分 06 秒)まで引いた線、同点から勝連崎(北緯 26 度 17 分 30 秒、東経 127 度 55 分 26 秒)まで引いた線及び陸岸により囲まれた海面中、軍港(ホワイトビーチ)、泡瀬漁港・中城浜漁港・当添漁港・海野漁港・久高漁港・津堅漁港・南原漁港の各区域に属する部分を除いた海面。	23,958ha
陸域	新港地区、泡瀬地区、熱田地区、中城地区、小那覇地区、西原与那原地区、馬天地区、仲伊保地区、安座真地区、津堅地区、アギ浜地区	602ha



図 I.3.1 港湾計画の範囲

3. 2 港湾空間利用ゾーニング

多様な機能が調和し、連携する質の高い港湾空間を形成するため、各地区の利用ゾーニングを以下のとおり設定する。

- ①新港地区は、効率的で生産性の高い物流ターミナルの形成に向けて、既存施設の再編・強化を行うとともに、引き続き航路の新設・拡充に取り組みつつ、RORO 船や PCC 等に対応する施設整備など、船舶・貨物・荷役特性等を踏まえた効率的な物流断面の確保に取り組む物流・産業振興ゾーンとする。
- ②中城地区、小那覇地区、仲伊保地区は、エネルギー拠点の形成を図る物流・産業振興ゾーンとする。
- ③新港地区、泡瀬地区、西原与那原地区、安座真地区は、人々が海や港を通じて交流し、賑わい・憩うことができる空間の形成を図る親水・交流ゾーンとする。
- ④安座真地区、津堅地区は、離島航路の安定運航を支える小型船だまりゾーンとする。
- ⑤新港地区、泡瀬地区、熱田地区、西原与那原地区、馬天地区、仲伊保地区、安座真地区、津堅地区、アギ浜地区は、地域の水産業等の振興を支援するとともにマリンアクティビティ拠点の形成を図る小型船だまりゾーンとする。
- ⑥新港地区、泡瀬地区、中城地区は、脱炭素社会・循環型社会の構築支援に取り組む共生環境創造ゾーンとする。

〔沖縄の新経済軸〕沖縄らしい新たな価値を創造する臨港都市・東海岸サンライズホート



図 I. 3. 2 港湾空間利用ゾーニング

背景図：「国土地理院」 (<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>)

II. 港湾の能力に関する資料

1 取扱貨物量

1. 1 取扱貨物量の推移

(1) 外内別・公専別取扱量の推移

外内別・公専別の取扱量の過去 10 年間の推移は、次のとおりである。(推計値の算出方法は【1. 3 取扱貨物量の設定】を参照)

表 II. 1. 1 内外・フェリー一般・公専別取扱量の推移

(単位：千トン)

外内別	公専別	H22 2010 - R1 2019										設定値 (R17/2035)				伸び率 R17/R1	
		H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	推計値	現在取扱貨物 推計値	那覇港からの シフト貨物量	新規貨物		
外 貿	公 共	63	42	43	49	76	73	37	45	32	39	1,175	104	-	1,071	30.17	
	専 用	3,027	2,977	3,120	2,631	2,401	1,137	548	341	356	256	318	318	-	-	1.24	
	計	3,090	3,019	3,162	2,680	2,478	1,210	585	386	388	295	1,493	422	-	1,071	5.06	
内 貿	公 共	707	627	654	834	1,127	1,065	1,045	1,030	1,031	1,258	2,617	1,240	1,120	258	2.08	
	専 用	1,383	1,793	1,972	1,582	1,382	1,132	1,050	1,017	827	818	760	760	-	-	0.93	
	計	2,090	2,421	2,626	2,416	2,510	2,197	2,096	2,047	1,858	2,076	3,378	2,000	1,120	258	1.63	
	フェリー除	公 共	615	568	569	729	1,059	1,005	951	901	937	1,169	2,513	1,136	1,120	258	2.15
		専 用	1,383	1,793	1,972	1,582	1,382	1,132	1,050	1,017	827	818	760	760	-	-	0.93
フェリー	計	1,998	2,362	2,541	2,311	2,442	2,138	2,002	1,918	1,763	1,987	3,273	1,896	1,120	258	1.65	
合 計	公 共	770	669	696	883	1,204	1,138	1,083	1,075	1,064	1,297	3,793	1,344	1,120	1,329	2.93	
	専 用	4,410	4,770	5,091	4,212	3,783	2,269	1,599	1,358	1,183	1,074	1,078	1,078	-	-	1.00	
	計	5,180	5,439	5,788	5,095	4,987	3,407	2,681	2,433	2,246	2,371	4,871	2,422	1,120	1,329	2.05	

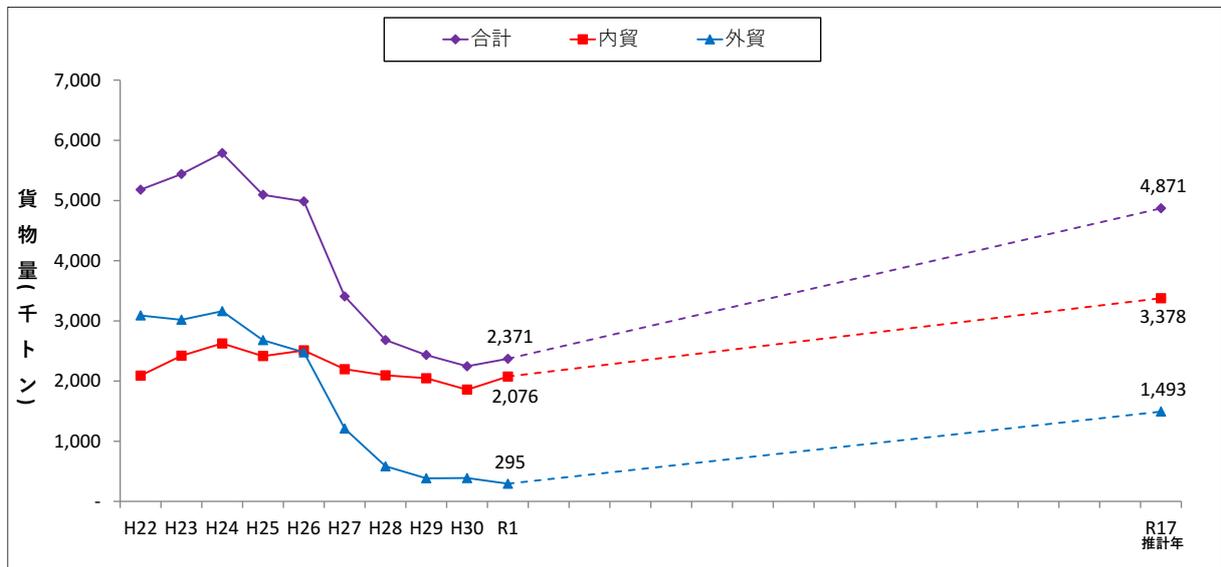


図 II. 1. 1 取扱貨物量の推移

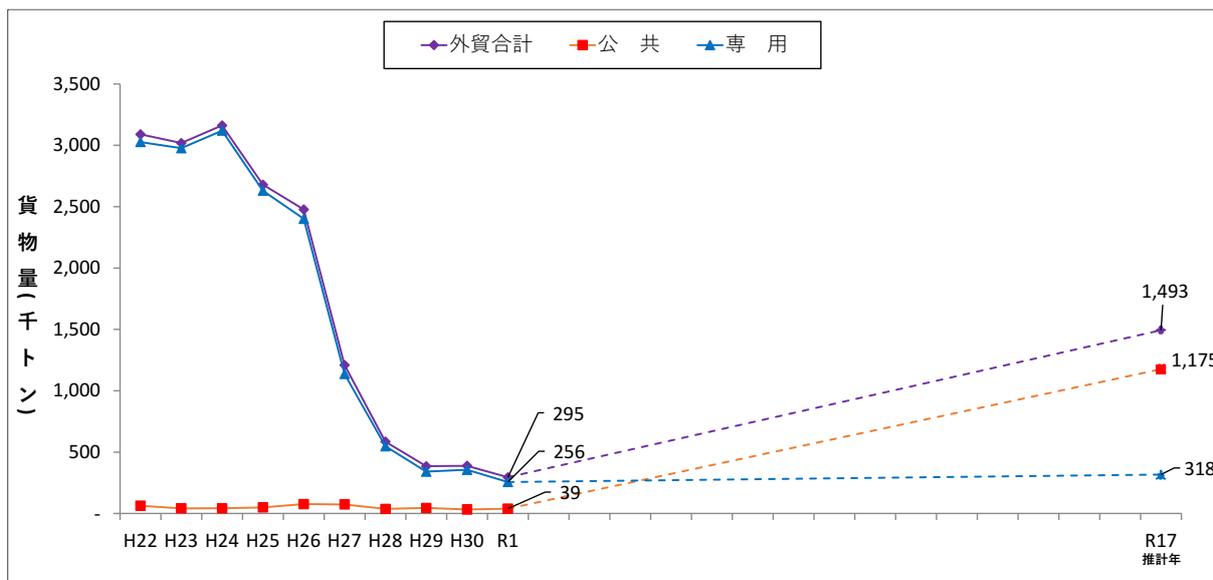


図 II. 1. 2 取扱貨物量の推移 (外貿)

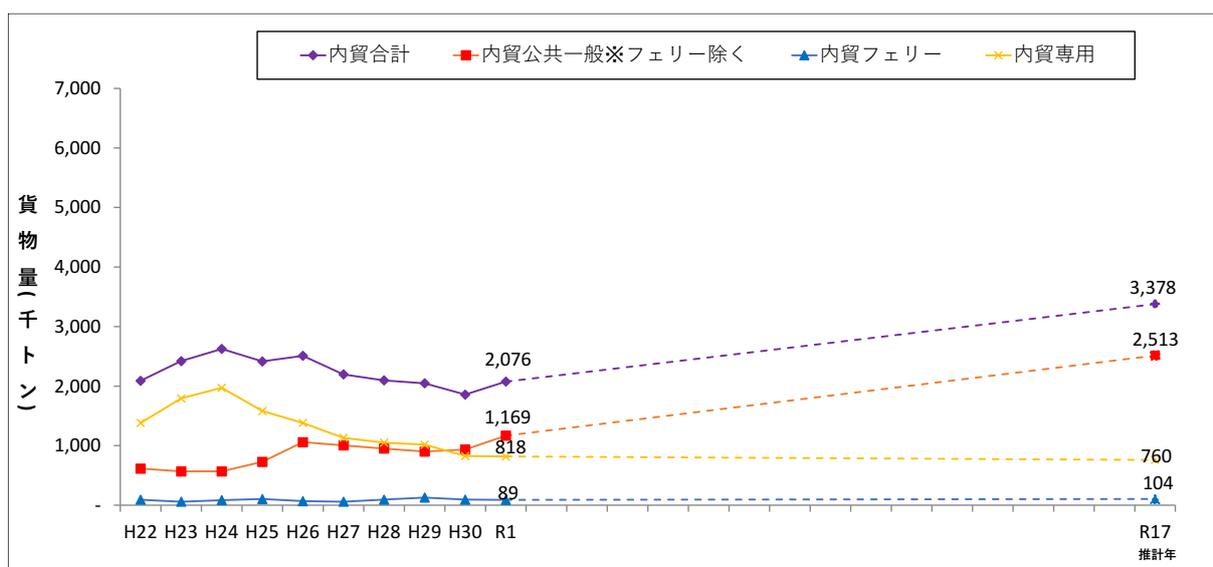


図 II. 1. 3 取扱貨物量の推移 (内貿)

(2) 外貨貨物の取扱量の推移

①外貨貨物の品目別取扱量の推移

外貨貨物の品目別取扱量の過去 10 年間の推移は、次のとおりである。

表 II. 1. 2 外貨貨物の品目別取扱量の推移

(単位：千トン)

品目	出入											(設定値) R17							
		H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	H31/R1 2019	推計値	現在取扱貨物 料米値	那覇港からの シフト貨物	新規貨物				
農水産品	米穀類	輸出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	輸入	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	計	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	水産品	輸出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	輸入	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	輸出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	輸入	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
林産品	原木	輸出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	輸入	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	輸出	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	輸入	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	計	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鉱産品	石炭	輸出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	輸入	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	砂利・砂	輸出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	輸入	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
原油	輸出	-	167	-	67	-	-	182	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	輸入	2,142	2,365	2,517	1,798	1,656	440	28	88	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	計	2,142	2,532	2,517	1,865	1,656	440	182	28	88	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他	輸出	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
輸入	-	-	-	-	26	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
計	-	-	-	-	26	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
鉄鋼	輸出	18	-	8	15	6	12	1	8	-	-	-	23	2	-	-	-	21	
	輸入	1	1	-	-	-	5	-	5	8	2	12	85	12	-	-	-	73	
	計	19	1	8	15	11	12	5	16	2	12	108	14	-	-	-	-	94	
	その他金属類	輸出	-	-	-	-	-	0	1	-	1	1	1	1	-	-	-	-	
	輸入	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	
	計	-	-	-	-	1	-	0	1	-	4	4	1	1	-	-	-	-	
輸送機械	輸出	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	84	-	-	-	-	84	
	輸入	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	計	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他機械	輸出	-	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
輸入	-	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計	-	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石油類	輸出	779	399	485	471	402	75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	輸入	117	14	126	308	353	634	376	323	279	275	298	298	298	-	-	-	-	
	計	897	412	612	778	756	709	376	323	279	275	298	298	298	-	-	-	-	
	セメント	輸出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	輸入	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
化学肥料	輸出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	輸入	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	輸出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	輸入	6	52	1	4	1	1	5	-	1	0	1	1	1	-	-	-	-	
計	6	52	1	4	1	1	5	-	1	0	1	1	1	-	-	-	-		
砂糖	輸出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	輸入	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	輸出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	輸入	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
雑工業品	輸出	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	輸入	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	43	-	-	-	-	43	
計	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	0	43	-	-	-	-	-	43	
金属くず	輸出	24	18	23	17	21	17	13	17	9	-	9	9	-	-	-	-	-	
	輸入	-	-	-	-	-	2	1	-	1	-	0	0	-	-	-	-	-	
	計	24	18	23	17	21	19	14	17	10	-	9	9	-	-	-	-	-	
	動植物性製造飼料	輸出	-	-	-	-	-	-	1	-	2	2	2	2	-	-	-	-	
	輸入	-	-	-	-	-	-	-	2	-	7	2	3	3	-	-	-	-	
	計	-	-	-	-	-	-	-	2	1	7	4	5	5	-	-	-	-	
その他	輸出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	輸入	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	250	-	-	250	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	250	-	-	250		
分類不能のもの	輸出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	輸入	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
フェリー	輸出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	輸入	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計	輸出	821	585	517	569	435	104	196	27	10	3	119	14	-	-	-	-	105	
	輸入	2,269	2,434	2,646	2,110	2,043	1,106	389	359	378	292	1,374	408	-	-	-	-	966	
	計	3,090	3,019	3,162	2,680	2,478	1,210	585	386	388	295	1,493	422	-	-	-	-	1,071	

②外貿公共貨物の品目別取扱量の推移

外貿公共貨物の品目別取扱量の過去 10 年の推移は、次のとおりである。(外貿公共貨物の推計値の算出については、【1. 3. (2) 外貿貨物取扱量の設定②～④】を参照) なお、中城湾港には外貿コンテナ航路はないため、外貿公共貨物取扱量と外貿公共一般貨物取扱量の値は等しい。

表 II. 1. 3 外貿公共貨物の品目別取扱量の推移

品目		出入											(設定値) R17				
			H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	H31/R1 2019	推計値	現在取扱貨物 将来値	那覇港からの シフト貨物	新規貨物	
農水産品	米穀類	輸出 輸入 計	- 3 3	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	54 54 54	54 54 54	- - -	- - -	
	水産品	輸出 輸入 計	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	
	その他	輸出 輸入 計	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	
林産品	原木	輸出 輸入 計	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	
	その他	輸出 輸入 計	- - -	- - -	- - -	- - -	6 6 6	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	
鉱産品	石炭	輸出 輸入 計	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	
	砂利・砂	輸出 輸入 計	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	600 600 600	- - -	- - -	600 600 600	
	原油	輸出 輸入 計	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	
	その他	輸出 輸入 計	- - -	- - -	- - -	- - -	26 26 26	29 29 29	- - -	- - -	1 1 1	- - -	2 2 2	2 2 2	- - -	- - -	
金属機械工業品	鉄鋼	輸出 輸入 計	18 1 19	- 1 1	8 - 8	15 - 15	6 5 11	12 - 12	1 5 5	8 8 16	- 2 2	- 12 108	23 85 108	2 12 14	2 12 14	- - -	21 73 94
	その他金属類	輸出 輸入 計	- - -	- - -	- - -	- - -	1 1 1	- - -	0 0 0	1 1 1	- - -	1 3 4	1 1 1	1 1 1	- - -	- - -	
	輸送機械	輸出 輸入 計	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	0 0 0	- - -	- - -	- - -	84 - 84	- - -	- - -	84 84 84	
	その他機械	輸出 輸入 計	- - -	2 2 2	1 1 1	- - -	1 1 1	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	
	石油類	輸出 輸入 計	- 12 12	- 14 14	- 9 9	- 13 13	- 10 10	- 12 12	- 10 10	- 10 10	- 10 10	- 11 11	- 19 19	- 19 19	- 19 19	- - -	- - -
化学工業品	セメント	輸出 輸入 計	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	
	化学肥料	輸出 輸入 計	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	
	その他	輸出 輸入 計	6 6 6	6 6 6	1 1 1	4 4 4	1 1 1	1 1 1	5 5 5	- - -	1 1 1	0 0 0	1 1 1	1 1 1	- - -	- - -	
	砂糖	輸出 輸入 計	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	
軽工業品	その他	輸出 輸入 計	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	
	雑工業品	輸出 輸入 計	- - -	1 1 1	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- 0 0	43 43 43	- - -	- - -	43 43 43	
特殊品	金属くず	輸出 輸入 計	24 - 24	18 - 18	23 - 23	17 - 17	21 - 21	17 2 19	13 1 14	17 - 17	9 1 10	- 0 9	9 0 9	9 0 9	- - -	- - -	
	動植物性製造飼肥料	輸出 輸入 計	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- 2 2	- 1 1	- 7 7	2 2 4	2 3 5	2 3 5	- - -	- - -	
	その他	輸出 輸入 計	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	250 250 250	- - -	- - -	250 250 250	
分類不能のもの	輸出 輸入 計	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -		
フェリー	輸出 輸入 計	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -		
合計	輸出 輸入 計	42 21 63	19 23 42	31 11 43	32 17 49	33 44 76	29 44 73	14 23 37	27 18 45	10 22 32	3 36 39	119 1,057 1,175	14 90 104	- - -	105 966 1,071		

③外貨専用貨物の品目別取扱量の推移

外貨専用貨物の品目別取扱量の過去 10 年間の推移は、次のとおりである。(なお、推計値の算出については、【1. 3. (2) 外貨貨物取扱量の設定④】を参照)

表 II. 1. 4 外貨専用貨物の品目別取扱量の推移

(単位：千トン)

品目	出入											(設定値) R17					
		H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	H31/R1 2019	推計値	現在取扱貨物 推計値	那覇港からの シフト貨物	新規貨物		
鉱産品	砂利・砂	輸出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	輸入	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	原油	輸出	-	167	-	67	-	-	182	-	-	-	-	-	-	-	-
輸入	2,142	2,365	2,517	1,798	1,656	440	-	28	88	-	39	39	-	-	-	-	
計	2,142	2,532	2,517	1,865	1,656	440	182	28	88	-	39	39	-	-	-	-	
化学工業品	石油類	輸出	779	399	485	471	402	75	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	輸入	106	-	117	295	343	622	366	312	268	256	279	279	-	-	-	-
	計	885	399	603	766	746	697	366	312	268	256	279	279	-	-	-	-
	その他	輸出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
輸入	-	46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	-	46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
軽工業品	その他	輸出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	輸入	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	輸出	779	566	485	537	402	75	182	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	輸入	2,248	2,411	2,634	2,093	1,999	1,062	366	341	356	256	318	318	-	-	-	-
計	3,027	2,977	3,120	2,631	2,401	1,137	548	341	356	256	318	318	-	-	-	-	

(3) 内貿貨物の取扱量の推移

①内貿貨物の品目別取扱量の推移

内貿貨物の品目別取扱量の過去10年の推移は、次のとおりである。なお、内航貨物は、内貿公共貨物（内貿一般貨物、内貿フェリー貨物）と内貿専用貨物の合計である。

表Ⅱ.1.5 内貿貨物の品目別取扱量の推移

品目	出入											(設定値) R17				
		H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	H31/R1 2019	推計値	現在取扱貨物 計表値	那覇港からの シフト貨物	新規貨物	
農水産品	米穀類	移出	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
		移入	14	17	20	20	19	18	15	14	23	16	18	18	-	-
		計	14	17	20	20	19	18	15	14	23	16	18	18	-	-
	水産品	移出	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
		移入	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
		計	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	7
その他	移出	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7	
	移入	0	0	-	0	0	84	0	0	0	0	0	17	0	16	
	計	0	0	-	0	0	84	0	0	0	0	17	0	7	23	
林産品	原木	移出	-	-	-	-	0	1	1	0	0	0	2	0	2	
		移入	-	1	7	12	11	11	9	11	12	9	13	11	3	
		計	-	1	7	12	11	10	10	11	12	9	15	11	4	
	その他	移出	8	9	7	6	6	19	13	12	17	15	16	15	1	
		移入	-	0	-	-	-	-	0	-	-	-	0	-	0	
		計	8	9	7	6	6	19	13	12	17	15	16	15	1	
鉱産品	石炭	移出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	
		移入	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	
		計	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	
	砂利・砂	移出	97	86	71	81	118	98	86	84	64	28	28	28	-	
		移入	470	391	415	527	799	720	690	634	652	910	912	912	-	
		計	567	477	486	607	917	818	776	719	715	939	940	940	-	
原油	移出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0		
	移入	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0		
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0		
その他	移出	2	5	2	-	-	1	0	1	-	0	0	0	0		
	移入	8	9	9	8	8	8	9	8	11	10	17	10	1		
	計	9	14	11	8	8	8	10	9	11	10	17	10	1		
金属機械工業品	鉄鋼	移出	1	-	0	3	1	6	7	4	14	9	40	9	7	
		移入	9	1	2	5	11	17	13	17	26	36	54	36	18	
		計	10	1	2	8	13	23	20	22	41	45	93	45	25	
	その他金属類	移出	0	3	-	0	4	2	0	3	1	0	62	0	3	
		移入	4	1	1	1	6	2	2	2	4	6	58	6	21	
		計	4	3	1	1	9	4	2	5	5	6	120	7	24	
輸送機械	移出	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	468	1	420		
	移入	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	161	3	158		
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	629	4	578		
その他機械	移出	0	1	-	0	0	0	0	0	0	0	7	0	7		
	移入	3	0	1	0	0	0	0	0	0	1	14	1	13		
	計	3	2	1	0	0	0	0	0	1	21	1	20			
化学工業品	石油類	移出	801	1,271	1,454	1,028	866	569	215	141	89	73	43	43	-	
		移入	400	386	371	416	382	440	705	748	618	627	600	600	-	
		計	1,202	1,657	1,825	1,444	1,248	1,008	920	889	706	699	644	644	-	
	セメント	移出	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		移入	3	5	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	
		計	3	5	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
化学肥料	移出	2	2	2	1	0	0	0	0	0	-	1	0	1		
	移入	22	22	23	21	-	1	-	-	-	-	1	-	1		
	計	24	24	25	22	0	1	0	0	0	-	2	0	2		
その他	移出	6	8	5	7	4	6	6	9	10	5	41	8	3		
	移入	8	8	8	8	5	4	6	7	6	4	23	5	18		
	計	14	15	13	15	9	10	12	16	16	9	64	13	21		
軽工業品	砂糖	移出	11	10	3	4	4	4	15	19	15	11	15	15	0	
		移入	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1	1	
		計	11	10	3	4	4	4	15	19	15	12	18	16	2	
	その他	移出	7	7	7	8	9	9	13	10	16	14	31	14	17	
		移入	0	0	6	11	8	10	13	0	0	2	155	2	153	
		計	7	7	12	19	17	20	26	10	16	15	185	15	170	
雑工業品	移出	3	1	2	0	2	1	4	0	4	6	49	6	3		
	移入	1	-	-	-	0	0	0	0	-	0	33	0	32		
	計	3	1	2	0	2	2	4	0	4	6	81	6	35		
特殊品	金属くず	移出	-	-	-	1	-	-	-	1	-	0	4	0		
		移入	23	23	24	31	39	37	39	36	42	38	40	39	1	
		計	23	23	24	32	39	37	39	37	42	38	44	39	5	
	動植物性製造飼料	移出	0	0	-	0	2	12	13	10	13	5	11	9	2	
		移入	87	91	92	95	116	29	107	125	110	117	67	63	4	
		計	88	91	92	95	118	41	120	135	123	122	79	73	6	
その他	移出	6	3	11	18	20	28	22	16	12	37	88	37	35		
	移入	0	0	0	0	1	1	0	1	2	2	163	3	160		
	計	6	3	11	18	21	30	22	18	14	39	251	40	196		
分類不能のもの	移出	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0		
	移入	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0		
	計	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0		
フェリー	移出	46	29	42	52	34	29	47	64	47	44	52	52	-		
	移入	46	30	43	53	34	30	47	65	48	45	52	52	-		
	計	92	59	85	105	68	60	94	129	95	89	104	104	-		
合計	移出	989	1,435	1,605	1,209	1,069	784	441	378	304	248	976	240	515		
	移入	1,100	986	1,021	1,207	1,440	1,413	1,655	1,670	1,554	1,828	2,401	1,760	605		
	計	2,090	2,421	2,626	2,416	2,510	2,197	2,096	2,047	1,858	2,076	3,378	2,000	1,120		

②内貿公共貨物の品目別取扱量の推移

内貿公共貨物の品目別取扱量の過去10年の推移は、次のとおりである。

表Ⅱ.1.6 内貿公共貨物の品目別取扱量の推移

(単位：千トン)

品目	出入											(設定値) R17					
		H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	H31/R1 2019	推計値	現在取扱量 将来値	那覇港からの シフト貨物	新規貨物		
農水産品	米穀類	移出 14	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
		移入 17	17	20	20	19	18	15	14	23	16	18	18	18	-	-	-
		計	14	17	20	20	19	18	15	14	23	16	18	18	-	-	-
	水産品	移出 0	0	-	0	0	0	0	0	0	1	0	10	0	4	6	-
		移入 0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	-
		計	0	0	-	0	0	0	0	0	1	0	13	0	7	6	-
その他	移出 0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	7	-	
	移入 0	0	-	0	0	84	0	0	0	0	0	17	0	16	-	-	
	計	0	0	-	0	0	84	0	0	0	0	23	0	23	-	-	
林産品	原木	移出 -	-	7	12	11	0	1	1	0	0	0	2	0	2	-	-
		移入 -	1	7	12	11	11	9	11	12	9	13	11	3	3	-	-
		計	-	1	7	12	11	10	11	12	9	15	11	4	4	-	-
	その他	移出 8	9	7	6	6	19	13	12	17	15	16	15	1	1	-	-
	移入 -	0	-	-	-	-	0	0	-	-	0	-	0	-	0	-	-
	計	8	9	7	6	6	19	13	12	17	15	16	15	2	2	-	-
鉱産品	石炭	移出 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	0	-	-
		移入 2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	0	-	-
		計	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	0	-	-
	砂利・砂	移出 97	86	71	81	118	98	86	84	64	28	28	28	-	-	-	-
		移入 295	259	272	390	662	592	555	503	523	789	790	790	-	-	-	-
		計	392	346	343	471	780	690	641	587	587	817	818	-	-	-	-
原油	移出 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	移入 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	0	-	
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	0	-	
その他	移出 2	5	2	-	-	1	0	1	-	0	0	0	0	0	0	-	-
	移入 8	9	9	8	8	8	9	8	11	10	17	10	1	7	1	7	
	計	9	14	11	8	8	8	10	9	11	10	17	10	1	7	7	
金属機械工業品	鉄鋼	移出 1	-	0	3	1	6	7	4	14	9	40	9	7	24	-	-
		移入 9	1	2	5	11	17	13	17	26	36	54	36	18	-	-	-
		計	10	1	2	8	13	23	20	22	41	45	93	45	25	24	-
	その他金属類	移出 0	3	-	0	4	2	0	3	1	0	62	0	3	59	-	-
		移入 4	1	1	1	6	2	2	2	4	6	58	6	21	30	-	-
		計	4	3	1	1	9	4	2	5	6	120	7	24	89	-	-
輸送機械	移出 0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	468	1	420	47	-	
	移入 0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	161	3	158	-	-	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	629	4	578	47	-	
その他機械	移出 0	1	1	-	0	0	0	0	0	0	0	7	0	7	-	-	
	移入 3	0	1	0	0	0	0	0	0	1	14	1	13	-	-		
	計	3	2	1	0	0	0	0	0	1	1	21	1	20	-	-	
化学工業品	石油類	移出 0	0	-	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
		移入 -	-	-	1	4	5	4	4	8	3	5	5	-	-	-	-
		計	0	0	-	2	4	5	4	4	8	3	5	5	-	-	-
	セメント	移出 0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
		移入 3	5	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
		計	3	5	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
化学肥料	移出 2	2	2	1	0	0	0	0	0	-	1	0	1	-	-	-	
	移入 22	22	23	21	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	
	計	24	24	25	22	0	1	0	0	0	-	2	0	2	-	-	
その他	移出 6	8	5	7	4	6	6	9	10	5	41	8	3	30	-	-	
	移入 3	3	4	5	5	4	6	7	6	4	23	5	18	-	-	-	
	計	9	10	9	12	9	10	12	16	9	64	13	21	30	-	-	
軽工業品	砂糖	移出 11	10	3	4	4	4	15	19	15	11	15	15	0	-	-	
		移入 -	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1	1	-	-	
	計	11	10	3	4	4	4	15	19	15	12	18	16	2	-	-	
その他	移出 7	7	7	8	9	9	13	10	15	14	31	14	17	-	-	-	
	移入 0	0	6	11	8	10	13	0	0	2	155	2	153	-	-		
	計	7	7	12	19	17	19	25	10	15	185	15	170	-	-		
雑工業品	移出 3	1	2	0	2	1	4	0	4	6	49	6	3	40	-	-	
	移入 1	-	-	-	0	0	0	0	-	0	33	0	32	-	-		
	計	3	1	2	0	2	4	0	4	6	81	6	35	40	-	-	
特殊品	金属くず	移出 -	-	-	1	-	-	-	-	0	4	0	4	-	-	-	
		移入 23	23	24	31	39	37	39	36	42	38	40	39	1	-	-	
		計	23	23	24	32	39	37	39	37	42	38	44	39	5	-	
	動植物性製造飼肥料	移出 0	0	-	0	2	12	13	10	13	5	11	9	2	-	-	
		移入 87	91	92	95	116	29	107	125	110	117	67	63	4	-	-	
		計	88	91	92	95	118	41	120	135	122	79	73	6	-	-	
その他	移出 6	3	11	18	20	28	22	16	12	37	88	37	35	16	-		
	移入 0	0	0	0	1	1	0	1	2	2	163	3	160	-	-		
	計	6	3	11	18	21	30	22	18	39	251	40	196	16	-		
分類不能のもの	移出 -	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	-	-		
	移入 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
フェリー	移出 46	29	42	52	34	29	47	64	47	44	52	52	-	-	-	-	
		移入 46	30	43	53	34	30	47	65	48	45	52	-	-	-	-	
		計	92	59	85	105	68	60	94	129	95	89	104	-	-	-	
合計	移出 188	164	151	181	203	215	227	236	215	175	932	196	515	221	-	-	
		移入 519	463	503	653	924	850	819	794	816	1,082	1,685	1,044	605	37	-	
		計	707	627	654	834	1,127	1,065	1,045	1,030	1,031	2,617	1,240	1,120	258	-	

③内貿公共一般貨物の品目別取扱量の推移

内貿公共一般貨物の品目別取扱量の過去10年の推移は、次のとおりである。なお、内貿公共一般貨物は、公共貨物からフェリー貨物を除いたものである。(内貿公共貨物の推計値の算出については、【1. 3. (3) 内貿貨物取扱量の設定②～④】を参照)

表 II. 1. 7 内貿公共一般貨物の品目別取扱量の推移

品目	出入	(設定値) R17										推計値	現在取扱量 将来値	那覇港からの シフト貨物	新規貨物			
		H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	H31/R1 2019							
農水産品	米穀類	移出 14	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
		移入 14	17	20	20	19	18	15	14	23	16	18	18	18	18	-	-	-
		計	0	0	-	0	0	0	0	0	1	0	10	0	4	6	-	-
	水産品	移出 0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	-	-	-
		移入 0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	1	0	13	0	7	6	-
		計	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	7	0	7	-	-	-
林産品	原木	移出 -	-	7	12	11	11	9	11	12	9	13	11	3	2	0	2	-
		移入 -	1	7	12	11	11	10	11	12	9	15	11	4	0	3	-	-
		計	8	9	7	6	6	19	13	12	17	15	16	15	1	1	-	-
	その他	移出 -	0	-	0	0	84	0	0	0	0	0	23	0	16	-	-	-
鉱産品	石炭	移出 2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	0	-	-
		移入 2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	0	-	-
		計	97	86	71	81	118	98	86	84	64	28	28	28	-	-	-	-
	砂利・砂	移出 295	259	272	390	662	592	555	503	523	789	790	790	-	-	-	-	-
		移入 392	346	343	471	780	690	641	587	587	817	818	818	-	-	-	-	-
		計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	原油	移出 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	0	-
		移入 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	0	-
		計	2	5	2	-	-	1	0	1	-	0	0	0	0	0	0	-
	その他	移出 8	9	9	8	8	8	9	8	11	10	17	10	1	7	1	7	-
金属機械工業品	鉄鋼	移出 1	-	0	3	1	6	7	4	14	9	40	9	7	24	-	-	-
		移入 10	1	2	8	13	23	20	22	41	45	93	45	25	24	-	-	-
		計	0	3	-	0	4	2	0	3	1	0	62	0	3	59	-	-
	その他金属類	移出 4	1	1	1	6	2	2	2	4	6	58	6	21	30	-	-	-
		移入 4	3	1	1	9	4	2	5	5	6	120	7	24	89	-	-	-
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	468	1	420	47	-	-
	輸送機械	移出 0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	161	3	158	-	-	-
		移入 0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	629	4	578	47	-	-	-
		計	0	1	-	0	0	0	0	0	0	0	7	0	7	-	-	-
	その他機械	移出 3	0	1	0	0	0	0	0	0	1	14	1	13	-	-	-	-
化学工業品	石油類	移出 -	-	-	1	0	4	5	4	8	3	5	5	-	-	-	-	-
		移入 0	0	-	2	4	5	4	4	8	3	5	5	-	-	-	-	-
		計	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-
	セメント	移出 3	5	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-
		移入 3	5	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-
		計	2	2	2	1	0	0	0	0	0	-	1	0	1	-	-	-
	化学肥料	移出 22	22	23	21	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
		移入 24	24	25	22	0	1	0	0	0	0	2	0	2	-	-	-	-
軽工業品	砂糖	移出 11	10	3	4	4	4	15	19	15	11	15	15	0	-	-	-	-
		移入 -	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1	1	-	-	-	-
		計	7	7	7	8	9	9	13	10	15	14	31	14	17	-	-	-
	その他	移出 0	0	6	11	8	10	13	0	0	2	155	2	153	-	-	-	-
		移入 7	7	12	19	17	19	25	10	15	15	185	15	170	-	-	-	-
		計	3	1	2	0	2	1	4	0	4	6	49	6	3	40	-	-
特殊品	金属くず	移出 23	23	24	31	39	37	39	36	42	38	40	39	1	-	-	-	-
		移入 23	23	24	32	39	37	39	37	42	38	44	39	5	-	-	-	-
		計	0	0	-	0	2	12	13	10	13	5	11	9	2	-	-	-
	動植物性製造飼肥料	移出 87	91	92	95	116	29	107	125	110	117	67	63	4	-	-	-	-
		移入 88	91	92	95	118	41	120	135	123	122	79	73	6	-	-	-	-
		計	6	3	11	18	20	28	22	16	12	37	88	37	35	16	-	-
	その他	移出 6	3	11	18	21	30	22	18	14	39	251	40	196	16	-	-	-
		移入 6	3	11	18	21	30	22	18	14	39	251	40	196	16	-	-	-
		計	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	-	-	-
	フェリー	移出 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	-
移入 -		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	-	
合計	移出 142	135	109	130	169	186	179	172	169	131	881	144	515	221	-	-	-	
	移入 473	433	460	600	890	819	772	730	768	1,038	1,632	991	605	37	-	-	-	
	計 615	568	569	729	1,059	1,005	951	901	937	1,169	2,513	1,136	1,120	258	-	-	-	

④内貿公共フェリー貨物の品目別取扱貨物量の推移

内貿公共フェリー貨物の航路方向別取扱量の過去 10 年間の推移は、次のとおりである。(内貿公共フェリー貨物の推計値の算出については、【1. 3. (3) 内貿貨物取扱量の設定⑤】を参照)

表 II. 1. 8 内貿公共フェリー貨物の品目別取扱量の推移

航路方面	出入											(設定値) R17			
		H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	H31/R1 2019	推計値	現在取扱貨物 推計値	那覇港からの シフト貨物	新規貨物
津堅地区 (津堅航路)	移出	37	21	33	44	28	20	34	57	30	32	40	40	-	-
	移入	38	22	33	45	28	21	34	57	32	33	40	40	-	-
	計	75	43	66	89	56	42	68	113	62	65	80	80	-	-
安座真地区 (久高航路)	移出	9	8	9	8	6	9	13	8	16	12	12	12	-	-
	移入	9	8	9	8	6	9	13	8	16	12	12	12	-	-
	計	17	16	19	16	12	18	27	16	33	24	24	24	-	-
合計	移出	46	29	42	52	34	29	47	64	47	44	52	52	-	-
	移入	46	30	43	53	34	30	47	65	48	45	52	52	-	-
	計	92	59	85	105	68	60	94	129	95	89	104	104	-	-

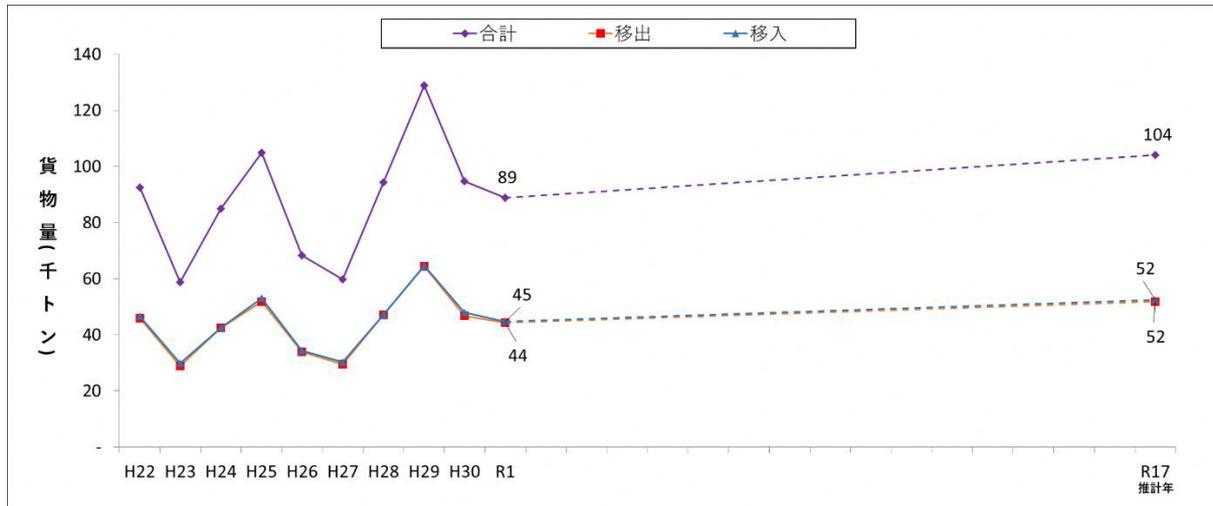


図 II. 1. 4 内貿公共フェリーの取扱量の推移

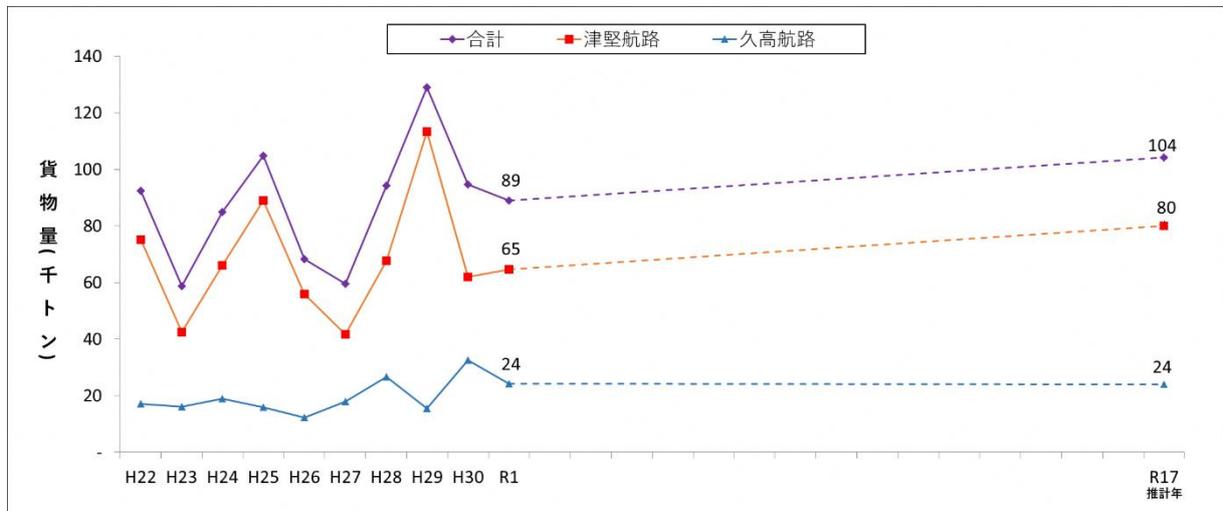


図 II. 1. 5 航路方向別の取扱量の推移

⑤内貿専用貨物の品目別取扱量の推移

内貿専用貨物の品目別取扱量の過去 10 年間の推移は、次のとおりである。(内貿専用貨物の推計値の算出については、【1. 3. (3) 内貿貨物取扱量の設定⑥】を参照)

表 II. 1. 9 内貿専用貨物の品目別取扱量の推移

(単位：千トン)

品目	出入	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	推計値	(設定値) R17			
		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019		現在取扱貨物 推計値	那覇港からの シフト貨物	新規貨物	
鉱産品	移出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	移入 計	176	132	143	137	138	128	135	132	128	122	122	122	-	-	-
原油	移出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	移入 計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
化学工業品	移出	801	1,271	1,454	1,027	866	569	215	141	89	73	43	43	-	-	-
	移入 計	400	386	371	415	378	435	701	744	609	624	595	595	-	-	-
その他	移出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	移入 計	5	5	4	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
軽工業品	移出	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
	移入 計	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
合計	移出	801	1,271	1,454	1,027	866	569	215	141	89	73	44	44	-	-	-
	移入 計	581	523	518	554	516	563	836	876	738	746	717	717	-	-	-
		1,383	1,793	1,972	1,582	1,382	1,132	1,050	1,017	827	818	760	760	-	-	-

1. 2 定期航路の現況等

(1) 外貿コンテナ定期航路

中城湾港に外貿コンテナ定期航路は就航していない。

(2) 外航フェリー航路（中城）

中城湾港に外航フェリー定期航路は就航していない。

(3) 内貿 RORO 定期航路

内貿 RORO 定期航路(※)の寄港地、運航船社、運航頻度の現況は、次のとおりである。

※琉球海運(株)ホームページの配船予定表をもとに定期的に運航している船舶を記載。

表 II. 1. 10 内貿 RORO 定期航路

寄港地	運航船社	運航頻度	投入船舶	総トン数
那覇～中城～大阪～東京 (中城は大阪/東京ゆきのみ寄港)	琉球海運(株)	1 便/週 (火曜日)	にらいかない II	11,687 トン
那覇～中城～博多 (中城は博多ゆきのみ寄港)	琉球海運(株)	1 便/週 (木曜日)	あやはし	11,681 トン

資料：琉球海運(株)HP

(4) 内航フェリー航路

内航フェリー定期航路の寄港地、運航船社、運航頻度の現況は、次のとおりである。

表 II. 1. 11 内航フェリー定期航路

寄港地	運航船社	運航頻度	投入船舶	総トン数
安座真～久高島	久高海運(名)	3 往復/日	フェリーくだかⅢ	89 トン
平屋敷～津堅	(有)神谷観光	3 往復/日	フェリーくがに	136 トン

資料：久高海運(名)HP、神谷観光(有)HP、運輸要覧(令和2年12月)

(5) 内貿公共貨物船定期航路

2014年11月、南西海運(株)が中城～那覇～平良～石垣～那覇の定期航路を開設したが、現在休止中である。また、南日本汽船(株)が鹿児島～中城湾港の定期航路(火曜日鹿児島出港便)を運航している。

(6) 旅客船定期航路

旅客定期航路の寄港地、運航船社、運航頻度の現況は、次のとおりである。

表 II. 1. 12 内航フェリー定期航路

寄港地	運航船社	運航頻度	投入船舶	総トン数
安座真～久高島	久高海運(名)	3 往復/日	ニューくだかⅢ(高速船)	19 トン
平屋敷～津堅	(有)神谷観光	2 往復/日	ニューくがに(高速船)	69 トン

資料：久高海運(名)HP、神谷観光(有)HP、運輸要覧(令和2年12月)

1. 3 取扱貨物量の設定

(1) 取扱貨物量の設定の方針

①基準年次、及び目標年次

中城湾港港湾計画改訂では、基準年次を平成 31 年/令和元年とし、目標年次をおおむね 15 年後の 2030 年代半ば（令和 10 年代後半）とする。

②目標年次貨物量の考え方

中城湾港における、目標年次貨物量は、一般貨物、中城湾港へのシフト貨物、新規貨物に分類して推計を行う。

1) 一般貨物

一般貨物の推計では、過去の取扱貨物量の実績を基に将来貨物量を算出した。

2) 那覇港から中城湾港へのシフト貨物（中城湾港の分担貨物）

中城湾港へのシフト貨物の推計では、将来、那覇港に寄港している内貿 RORO 船が中城湾港へ寄港する計画により、背後圏（宜野座～西原）の消費貨物（移入）、企業の製造貨物（移出）を適切に配分することで発生する内貿貨物を分担の対象とする。

分担貨物については、那覇港の公共貨物量推計値をもとに中城湾港背後圏の製造品出荷額や人口の割合、港湾の情勢を踏まえて貨物量を算出した。

3) 新規貨物

新規貨物の推計では、中城湾港背後に立地する企業から新たに発生する貨物及び内貿 RORO 船が中城湾港へ寄港する計画により発生する貨物についてヒアリング調査より貨物量を算出した。

③貨物量推計全体フロー

目標年次（2030年代半ば（令和10年代後半））における取扱貨物量は、中城湾港の一般貨物量の推移、及び那覇港から中城湾港へのシフト貨物量、新規貨物量を基に以下のフローに従い設定した。

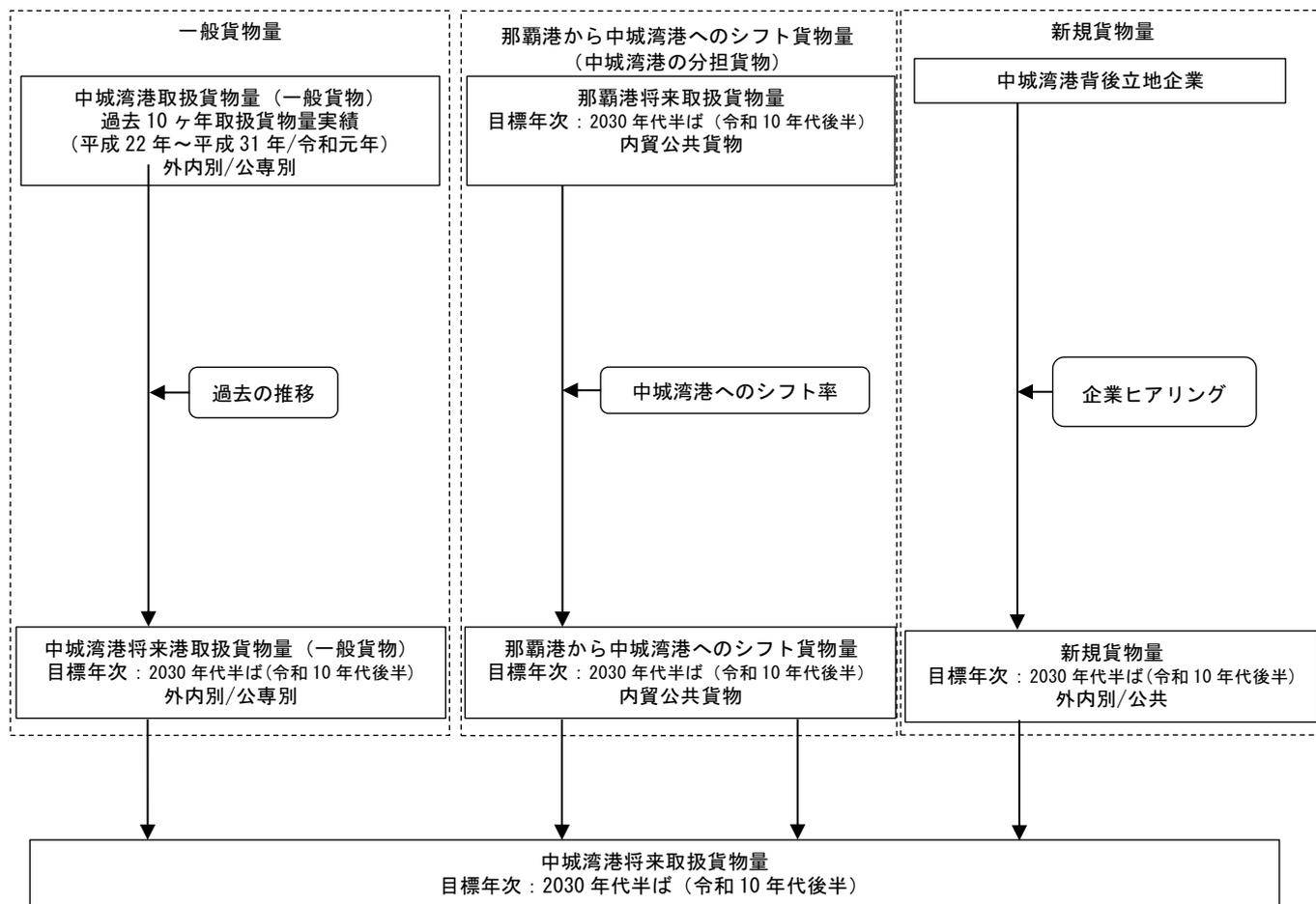


図 II. 1. 6 中城湾港貨物量推計の全体フロー

表 II. 1. 13 推計結果（まとめ）

（単位：千トン）

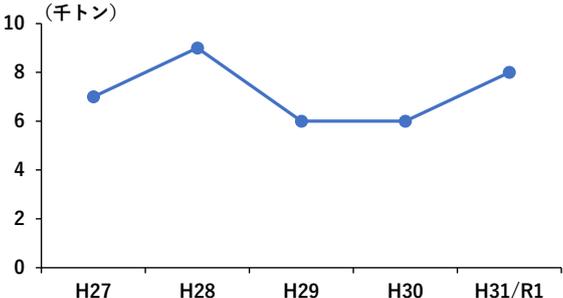
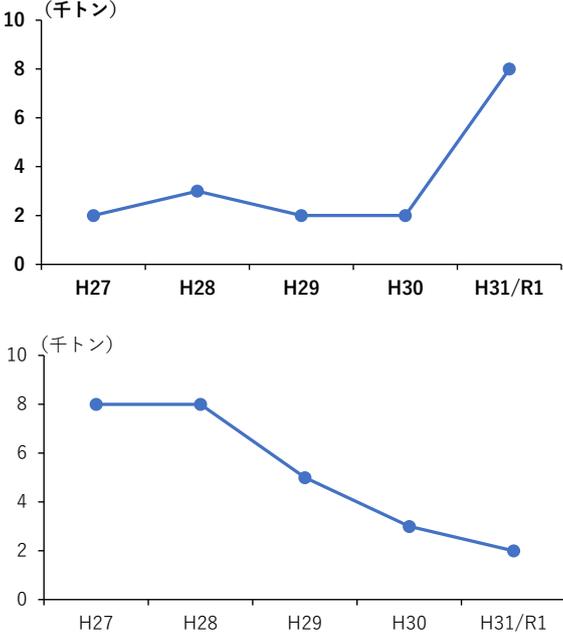
外内別	公専別	年次										設定値 (R17/2035)			伸び率 R17/R1		
		H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	推計値	現在取扱貨物 推計値	那覇港からの シフト貨物量		新規貨物	
外 貿	公 共	63	42	43	49	76	73	37	45	32	39	1,175	104	-	1,071	30.17	
	専 用	3,027	2,977	3,120	2,631	2,401	1,137	548	341	356	256	318	318	-	-	1.24	
	計	3,090	3,019	3,162	2,680	2,478	1,210	585	386	388	295	1,493	422	-	1,071	5.06	
内 貿	公 共	707	627	654	834	1,127	1,065	1,045	1,030	1,031	1,258	2,617	1,240	1,120	258	2.08	
	専 用	1,383	1,793	1,972	1,582	1,382	1,132	1,050	1,017	827	818	760	760	-	-	0.93	
	計	2,090	2,421	2,626	2,416	2,510	2,197	2,096	2,047	1,858	2,076	3,378	2,000	1,120	258	1.63	
	フェリ除	公 共	615	568	569	729	1,059	1,005	951	901	937	1,169	2,513	1,136	1,120	258	2.15
	専 用	1,383	1,793	1,972	1,582	1,382	1,132	1,050	1,017	827	818	760	760	-	-	0.93	
計	1,998	2,362	2,541	2,311	2,442	2,138	2,002	1,918	1,763	1,987	3,273	1,896	1,120	258	1.65		
フェリ	公 共	92	59	85	105	68	60	94	129	95	89	104	104	-	-	1.17	
合 計	公 共	770	669	696	883	1,204	1,138	1,083	1,075	1,064	1,297	3,793	1,344	1,120	1,329	2.93	
	専 用	4,410	4,770	5,091	4,212	3,783	2,269	1,599	1,358	1,183	1,074	1,078	1,078	-	-	1.00	
	計	5,180	5,439	5,788	5,095	4,987	3,407	2,681	2,433	2,246	2,371	4,871	2,422	1,120	1,329	2.05	

(2) 外貿貨物取扱量の設定

①推計方針

目標年次における外貿貨物取扱量の設定の考え方は、それぞれ次のとおりである。

表 II. 1. 14 外貿公共貨物取扱量の設定の考え方

推計の種類	取扱貨物量の状況	推計の方法										
<p>I 型 (振動型)</p>	<p>・過去 5 ヶ年において貨物量が増減しながら推移している場合</p> 	<p>過去 3 ヶ年平均</p>										
<p>II 型 (増加・減少型)</p>	<p>・取扱いの推移を見た時に、H31/R1 の値が明らかに増加または減少している場合</p> 	<p>現状程度 (H31/R1 を維持)</p>										
<p>III 型 (不定期型)</p>	<p>・過去 5 ヶ年の中で、3 年以上取扱いがない場合 (千トン)</p> <table border="1" data-bbox="472 1715 1115 1816"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31/R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>7</td> <td>-</td> <td>2</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	H27	H28	H29	H30	H31/R1	-	7	-	2	-	<p>取扱いなし</p>
H27	H28	H29	H30	H31/R1								
-	7	-	2	-								

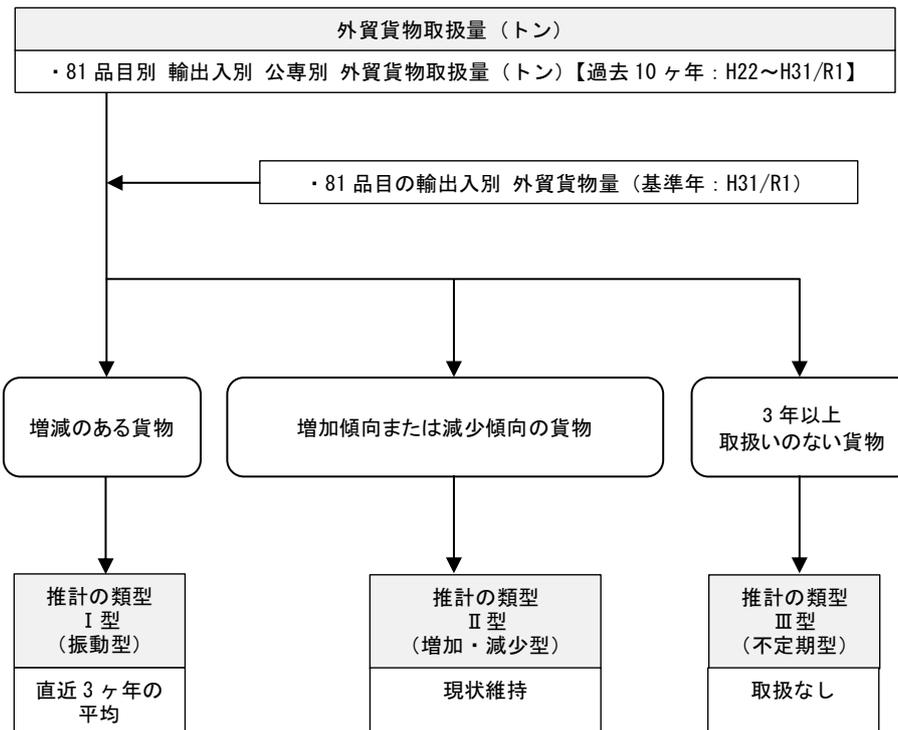


図 Ⅱ. 1. 7 外貿公共貨物取扱量の設定の考え方

②外貿公共貨物取扱量の設定

目標年次における外貿公共貨物の取扱量の設定値と推計方法の考え方は、それぞれ次のとおりである。

表 II. 1. 15 外貿公共貨物取扱量の設定

(単位：千トン)

品目		出入	基準年 2019	設定値 2035	類型	推計方法
農水産品	米穀類	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	-	54	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	54		
	水産品	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
	その他 (農産品)	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
林産品	原木	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
	その他 (林産品)	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
鉱産品	石炭	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
	砂・砂利	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
	原油	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
	その他 (鉱産品)	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	-	2	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	2		
金属機械 工業品	鉄鋼	輸出	-	2	I型	過去3ヶ年平均等
		輸入	12	12	Ⅱ型	現状程度等
		計	12	14		
	その他 金属類	輸出	1	1	I型	過去3ヶ年平均
		輸入	3	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	4	1		
	輸送機械	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
	その他 機械	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
化学 工業品	石油類	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	19	19	Ⅱ型	現状程度
		計	19	19		
	セメント	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
	化学肥料	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
	その他 (化学工業品)	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	0	1	I型	過去3ヶ年平均等
		計	0	1		
軽工業品	砂糖	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
	その他	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
雑工業品	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし	
	輸入	0	-	Ⅲ型	取扱なし	
	計	0	-			
特殊品	金属くず	輸出	-	9	I型	過去3ヶ年平均
		輸入	-	0		実績程度
		計	-	9		
	動植物性製造飼肥料	輸出	2	2	Ⅱ型	現状程度
		輸入	2	3		実績程度
		計	4	5		
	その他	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
分類不能のもの	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし	
	輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし	
	計	-	-			
フェリー	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし	
	輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし	
	計	-	-			
合 計	輸出	-	3			
	輸入	-	36			
	計	-	39	104		

③外貿新規貨物取扱量の設定

目標年次における外貿新規貨物の取扱量の設定値と考え方は、それぞれ次のとおりである。

表Ⅱ.1.16 外貿新規貨物取扱量の設定

(単位：千トン)

品目		出入	設定値 2035	詳細
農水産品	米穀類	輸出	-	
		輸入	-	
		計	-	
	水産品	輸出	-	
		輸入	-	
		計	-	
	その他 (農産品)	輸出	-	
		輸入	-	
		計	-	
林産品	原木	輸出	-	
		輸入	-	
		計	-	
	その他 (林産品)	輸出	-	
		輸入	-	
		計	-	
鉱産品	石炭	輸出	-	
		輸入	-	
		計	-	
	砂・砂利	輸出	-	
		輸入	600	・企業へのヒアリング調査により設定
		計	600	
	原油	輸出	-	
		輸入	-	
		計	-	
	その他 (鉱産品)	輸出	-	
		輸入	-	
		計	-	
金属機械 工業品	鉄鋼	輸出	21	・鉄鋼企業へのヒアリング調査より設定
		輸入	73	・製造企業へのヒアリング調査より設定
		計	94	
	その他 金属類	輸出	-	
		輸入	-	
		計	-	
	輸送機械	輸出	84	・那覇港の推計値より算出した新規貨物量
		輸入	-	
		計	84	
	その他 機械	輸出	-	
輸入		-		
計		-		
化学 工業品	石油類	輸出	-	
		輸入	-	
		計	-	
	セメント	輸出	-	
		輸入	-	
		計	-	
	化学肥料	輸出	-	
		輸入	-	
		計	-	
	その他 (化学工業品)	輸出	-	
		輸入	-	
		計	-	
軽工業品	砂糖	輸出	-	
		輸入	-	
		計	-	
	その他	輸出	-	
		輸入	-	
		計	-	
雑工業品		輸出	-	
		輸入	43	・企業へのヒアリング調査より設定
		計	43	
特殊品	金属くず	輸出	-	
		輸入	-	
		計	-	
	動植物性製造飼肥料	輸出	-	
		輸入	-	
		計	-	
	その他	輸出	-	
		輸入	250	・中城バイオマス発電所公表資料より設定
		計	250	
分類不能のもの		輸出	-	
		輸入	-	
		計	-	
フェリー		輸出	-	
		輸入	-	
		計	-	
合 計		輸出	105	
		輸入	966	
		計	1,071	

④外貨専用貨物取扱量の設定

目標年次における外貨公共貨物の取扱量の設定値と推計方法の考え方は、それぞれ次のとおりである。

表 II. 1. 17 外貨専用貨物取扱量の設定

(単位：千トン)

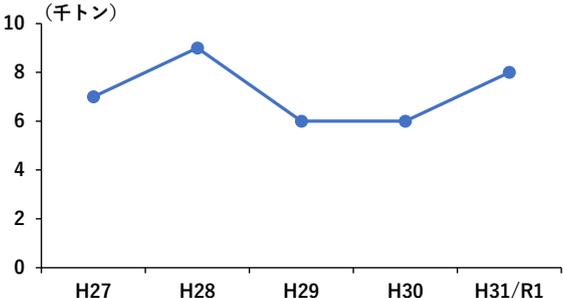
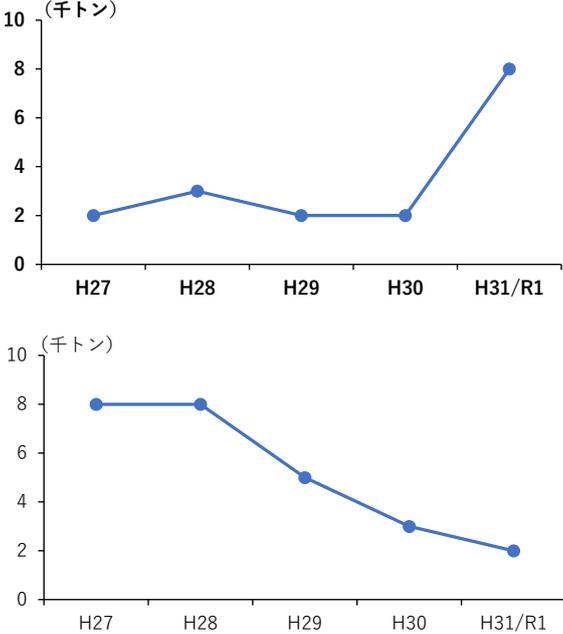
品目		出入	基準年 2019	設定値 2035	類型	推計方法
農水産品	米穀類	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
	水産品	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
	その他 (農産品)	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
林産品	原木	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
	その他 (林産品)	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
鉱産品	石炭	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
	砂・砂利	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
	原油	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	-	39	I型	過去3年平均
		計	-	39		
	その他 (鉱産品)	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
金属機械 工業品	鉄鋼	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
	その他 金属類	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
	輸送機械	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
	その他 機械	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
化学 工業品	石油類	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	256	279	I型	過去3年平均等
		計	256	279		
	セメント	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
	化学肥料	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
	その他 (化学工業品)	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
軽工業品	砂糖	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
	その他	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
雑工業品	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし	
	輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし	
	計	-	-			
特殊品	金属くず	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
	動植物性製造飼肥料	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
	その他	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
分類不能のもの	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし	
	輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし	
	計	-	-			
フェリー	輸出	-	-	Ⅲ型	取扱なし	
	輸入	-	-	Ⅲ型	取扱なし	
	計	-	-			
合 計	輸出	-	-			
	輸入	256	318			
	計	256	318			

(3) 内貿貨物取扱量の設定（一般貨物）

①推計方針

目標年次における内貿貨物取扱量の設定の考え方は、それぞれ次のとおりである。

表 II. 1. 18 内貿公共貨物取扱量の設定の考え方

推計の種類	取扱貨物量の状況	推計の方法										
<p>I 型 (振動型)</p>	<p>・過去 5 ヶ年において貨物量が増減しながら推移している場合</p> 	<p>過去 3 ヶ年平均</p>										
<p>II 型 (増加・減少型)</p>	<p>・取扱いの推移を見た時に、H31/R1 の値が明らかに増加または減少している場合</p> 	<p>現状程度 (H31/R1 を維持)</p>										
<p>III 型 (不定期型)</p>	<p>・過去 5 ヶ年の中で、3 年以上取扱いがない場合 (千トン)</p> <table border="1" data-bbox="472 1715 1115 1816"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31/R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>7</td> <td>-</td> <td>2</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	H27	H28	H29	H30	H31/R1	-	7	-	2	-	<p>取扱いなし</p>
H27	H28	H29	H30	H31/R1								
-	7	-	2	-								

②内貿公共貨物取扱量の設定

目標年次における内貿公共貨物取扱量の設定値と推計方法の考え方は、それぞれ次のとおりである。

表 II. 1. 1 9 内貿公共貨物取扱量の設定

(単位：千トン)

品目		出入	設定値 2035	類型	推計方法
農水産品	米穀類	移出	0	I型	過去3ヶ年平均等
		移入	18	I型	過去3ヶ年平均等
		計	18		
	水産品	移出	0	I型	過去3ヶ年平均
		移入	0	I型	過去3ヶ年平均
		計	0		
	その他 (農産品)	移出	0	I型	過去3ヶ年平均等
		移入	0	I型	過去3ヶ年平均等
		計	0		
林産品	原木	移出	0	I型	過去3ヶ年平均等
		移入	11	I型	過去3ヶ年平均等
		計	11		
	その他 (林産品)	移出	15	I型	過去3ヶ年平均等
		移入	-	III型	取扱なし
計	15				
鉱産品	石炭	移出	-	III型	取扱なし
		移入	-	III型	取扱なし
		計	-		
	砂・砂利	移出	28	II型	現状程度等
		移入	790	II型	現状程度等
		計	818		
	原油	移出	-	III型	取扱なし
		移入	-	III型	取扱なし
		計	-		
	その他 (鉱産品)	移出	0	I型	過去3ヶ年平均等
移入		10	I型	過去3ヶ年平均等	
計		10			
金属機械 工業品	鉄鋼	移出	9	I型	過去3ヶ年平均等
		移入	36	II型	現状程度等
		計	45		
	その他 金属類	移出	0	I型	過去3ヶ年平均等
		移入	6	II型	現状程度等
		計	6		
	輸送機械	移出	1	I型	過去3ヶ年平均等
		移入	3	II型	現状程度等
		計	4		
	その他 機械	移出	0	I型	過去3ヶ年平均等
移入		1	II型	現状程度等	
計		1			
化学 工業品	石油類	移出	0	I型	過去3ヶ年平均等
		移入	5	I型	過去3ヶ年平均等
		計	5		
	セメント	移出	0	I型	過去3ヶ年平均等
		移入	-	III型	取扱なし
		計	0		
	化学肥料	移出	0	I型	過去3ヶ年平均等
		移入	-	III型	取扱なし
		計	0		
	その他 (化学工業品)	移出	8	I型	過去3ヶ年平均等
移入		5	II型	現状程度等	
計		13			
軽工業品	砂糖	移出	15	I型	過去3ヶ年平均
		移入	1	II型	現状程度
		計	16		
	その他	移出	14	II型	現状程度等
		移入	2	II型	現状程度等
計	15				
雑工業品		移出	6	II型	現状程度等
		移入	0	II型	現状程度等
		計	6		
特殊品	金属くず	移出	0	II型	現状程度
		移入	39	I型	過去3ヶ年平均
		計	39		
	動植物性製造飼肥料	移出	9	I型	過去3ヶ年平均
		移入	63	I型	過去3ヶ年平均
		計	73		
	その他	移出	37	II型	現状程度等
		移入	3	II型	現状程度等
		計	40		
分類不能のもの		移出	0	I型	過去3ヶ年平均
		移入	-	III型	取扱なし
		計	0		
フェリー		移出	52	I型	過去3ヶ年平均
		移入	52	I型	過去3ヶ年平均
		計	104		
合 計		移出	196		
		移入	1,044		
		計	1,240		

③中城湾港へのシフト貨物取扱量の設定

1) 推計方針

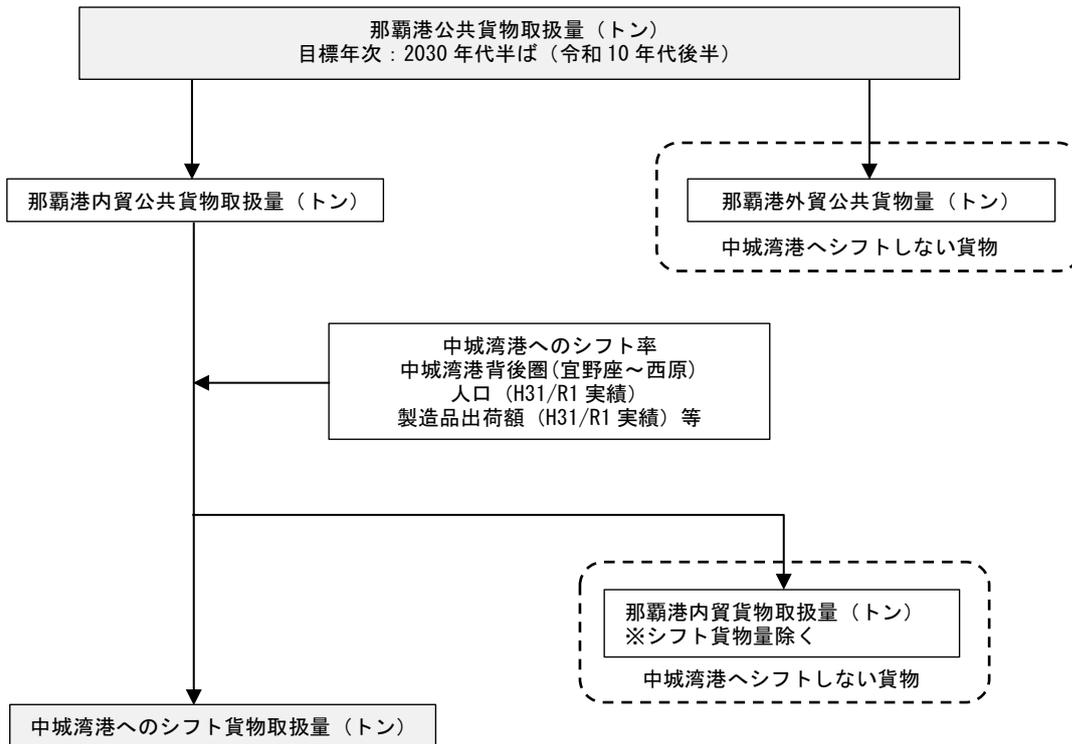


図 II. 1. 8 中城湾港へのシフト貨物取扱量の設定の考え方

2) 中城湾港へのシフト貨物取扱量の設定

目標年次における中城湾港へのシフト貨物取扱量の設定値と考え方は、それぞれ次のとおりである。

表 II. 1. 20 中城湾港へのシフト貨物量の設定

(単位：千トン)

品目		出入	設定値 2035	設定方法
農水産品	米穀類	移出	-	・那覇港背後に保管施設が設置されていると想定されているためシフトしないものとする。 ・中城湾港と那覇港背後圏の製造品出荷額(移出)、人口(移入)の割合で按分する。
		移入	-	
		計	-	
	水産品	移出	4	
		移入	3	
		計	7	
その他 (農産品)	移出	7		
	移入	16		
	計	23		
林産品	原木	移出	2	
		移入	3	
		計	4	
	その他 (林産品)	移出	1	
		移入	0	
		計	2	
鉱産品	石炭	移出	0	・コンクリート製品製造業等にかかる砂利・砂については那覇港周辺での需要分であるため中城湾港へシフトしないものとする。 ・中城湾港と那覇港背後圏の製造品出荷額(移出)、人口(移入)の割合で按分する。
		移入	0	
		計	0	
	砂・砂利	移出	-	
		移入	-	
		計	-	
原油	移出	-		
	移入	0		
	計	0		
その他 (鉱産品)	移出	0		
	移入	1		
	計	1		
金属機械 工業品	鉄鋼	移出	7	
		移入	18	
		計	25	
	その他 金属類	移出	3	
		移入	21	
		計	24	
	輸送機械	移出	420	
		移入	158	
計		578		
その他 機械	移出	7		
	移入	13		
	計	20		
化学 工業品	石油類	移出	-	・那覇港背後に保管施設が設置されていると想定されているためシフトしないものとする。 ・中城湾港と那覇港背後圏の製造品出荷額(移出)、人口(移入)の割合で按分する。
		移入	-	
		計	-	
	セメント	移出	-	
		移入	-	
		計	-	
化学肥料	移出	1		
	移入	1		
	計	2		
その他 (化学工業品)	移出	3		
	移入	18		
	計	21		
軽工業品	砂糖	移出	0	
		移入	1	
		計	2	
	その他	移出	17	
移入		153		
計		170		
雑工業品	移出	3		
	移入	32		
	計	35		
特殊品	金属くず	移出	4	
		移入	1	
		計	5	
	動植物性製造飼肥料	移出	2	
		移入	4	
		計	6	
その他	移出	35		
	移入	160		
	計	196		
分類不能のもの	移出	0		
	移入	0		
	計	0		
フェリー	移出	-	-	
	移入	-		
	計	-		
合 計	移出	515		
	移入	605		
	計	1,120		

④内貿公共新規貨物取扱量の設定

目標年次における内貿新規貨物取扱量の設定値と考え方は、それぞれ次のとおりである。

表Ⅱ.1.21 内貿新規貨物取扱量の設定

(単位：千トン)

品目		出入	設定値 2035	詳細
農水産品	米穀類	移出	-	
		移入	-	
		計	-	
	水産品	移出	6	・漁協へのヒアリング調査より設定
		移入	-	
		計	6	
その他 (農産品)	移出	-		
	移入	-		
	計	-		
林産品	原木	移出	-	
		移入	-	
		計	-	
	その他 (林産品)	移出	-	
		移入	-	
		計	-	
鉱産品	石炭	移出	-	
		移入	-	
		計	-	
	砂・砂利	移出	-	
		移入	-	
		計	-	
	原油	移出	-	
		移入	-	
		計	-	
	その他 (鉱産品)	移出	-	
		移入	7	・発電所関連企業へのヒアリング調査より設定
		計	7	
金属機械 工業品	鉄鋼	移出	24	・鉄鋼企業へのヒアリング調査より設定
		移入	-	
		計	24	
	その他 金属類	移出	59	・製造企業へのヒアリング調査より設定
		移入	30	・物流企業へのヒアリング調査より設定
		計	89	
	輸送機械	移出	47	・車関連企業へのヒアリング調査より設定
		移入	-	
		計	47	
	その他 機械	移出	-	
		移入	-	
		計	-	
化学 工業品	石油類	移出	-	
		移入	-	
		計	-	
	セメント	移出	-	
		移入	-	
		計	-	
	化学肥料	移出	-	
		移入	-	
		計	-	
	その他 (化学工業品)	移出	30	・企業へのヒアリング調査により設定
		移入	-	
		計	30	
軽工業品	砂糖	移出	-	
		移入	-	
		計	-	
	その他	移出	-	
		移入	-	
		計	-	
雑工業品		移出	40	・企業へのヒアリング調査により設定
		移入	-	
		計	40	
特殊品	金属くず	移出	-	
		移入	-	
		計	-	
	動植物性製造飼肥料	移出	-	
		移入	-	
		計	-	
その他	移出	16	・バイオマス発電所・燃焼灰	
	移入	-		
	計	16		
分類不能のもの		移出	-	
		移入	-	
		計	-	
フェリー		移出	-	
		移入	-	
		計	-	
合 計		移出	221	
		移入	37	
		計	258	

⑤内貿フェリー貨物取扱量の設定

目標年次における内貿フェリー貨物取扱量は、就航しているフェリー航路（2航路）が維持されるものとする。

表 II. 1. 2 2 内貿フェリー貨物取扱量の設定

(単位:千トン)

航路方面	出入	基準年 2019	設定値 2035	類型	推計方法
津堅地区 (津堅航路)	移出	32	40	I型	過去3ヶ年平均
	移入	33	40	I型	過去3ヶ年平均
	計	65	80		
安座真地区 (久高航路)	移出	12	12	I型	過去3ヶ年平均
	移入	12	12	I型	過去3ヶ年平均
	計	24	24		
合計	移出	44	52		
	移入	45	52		
	計	89	104		

⑥内貿専用貨物取扱量の設定

目標年次における内貿専用貨物取扱量の設定値と設定の考え方は、それぞれ次のとおりである。

表Ⅱ.1.23 内貿専用貨物取扱量の設定

(単位：千トン)

品目		出入	基準年 2019	設定値 2035	類型	推計方法
農水産品	米穀類	移出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		移入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
	水産品	移出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		移入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
	その他 (農産品)	移出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		移入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
林産品	原木	移出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		移入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
	その他 (林産品)	移出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		移入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
鉱産品	石炭	移出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		移入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
	砂・砂利	移出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		移入	122	122	Ⅱ型	現状程度等
		計	122	122		
	原油	移出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		移入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
	その他 (鉱産品)	移出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		移入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
金属機械 工業品	鉄鋼	移出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		移入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
	その他 金属類	移出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		移入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
	輸送機械	移出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		移入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
	その他 機械	移出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		移入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
化学 工業品	石油類	移出	73	43	Ⅰ型	過去3カ年平均等
		移入	624	595	Ⅰ型	過去3カ年平均等
		計	696	638		
	セメント	移出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		移入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
	化学肥料	移出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		移入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
	その他 (化学工業品)	移出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		移入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
軽工業品	砂糖	移出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		移入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
	その他	移出	0	0	Ⅱ型	現状程度等
		移入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	0	0		
雑工業品	移出	-	-	Ⅲ型	取扱なし	
	移入	-	-	Ⅲ型	取扱なし	
	計	-	-			
特殊品	金属くず	移出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		移入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
	動植物性製造飼肥料	移出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		移入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
	その他	移出	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		移入	-	-	Ⅲ型	取扱なし
		計	-	-		
分類不能のもの	移出	-	-	Ⅲ型	取扱なし	
	移入	-	-	Ⅲ型	取扱なし	
	計	-	-			
フェリー	移出	-	-	Ⅲ型	取扱なし	
	移入	-	-	Ⅲ型	取扱なし	
	計	-	-			
合 計	移出	73	44			
	移入	746	717			
	計	818	760			

2 入港船舶

2.1 船舶の利用状況

平成27年から令和元年における種類別、トン階級別の船舶利用状況は次のとおりである。

表 II. 2. 1 (1) 船舶の利用状況

(単位：隻)

種類	トン階級 (G/T)	H27	H28	H29	H30	R1	将来値
外 航 商 船	5 ～ 499	1	1				
	500 ～ 999	4	7	3	1		
	1,000 ～ 2,999	26	26	26	27	30	101
	3,000 ～ 5,999	2	2	1		1	
	6,000 ～ 9,999	36	10	1		1	48
	10,000 ～ 29,999	4	2	7	1		75
	30,000 ～	14	15	13	34	23	108
	合 計	87	63	51	63	55	332
内 航 商 船	5 ～ 499	2,858	2,739	2,613	2,341	2,588	1,825
	500 ～ 999	853	777	684	747	737	973
	1,000 ～ 2,999	150	140	103	39	124	14
	3,000 ～ 5,999	67	94	69	45	35	
	6,000 ～ 9,999			1			24
	10,000 ～ 29,999	7	7	25	41	56	394
	30,000 ～				1		
	合 計	3,935	3,757	3,495	3,214	3,540	3,230
フ ェ リ ー	5 ～ 499	2,066	2,102	2,160	2,038	1,999	1,820
	500 ～ 999						
	1,000 ～ 2,999						
	3,000 ～ 5,999						
	6,000 ～ 9,999						
	10,000 ～ 29,999					1	
	30,000 ～						
	合 計	2,066	2,102	2,160	2,038	2,000	1,820
そ の 他	5 ～ 499	605	731	713	795	624	1,010
	500 ～ 999	15	49	30	14	41	10
	1,000 ～ 2,999	60	126	189	57	88	60
	3,000 ～ 5,999	2	14	14	3	3	
	6,000 ～ 9,999	2	2	3	1	5	
	10,000 ～ 29,999						
	30,000 ～						
	合 計	684	922	949	870	761	1,080
合 計	5 ～ 499	5,530	5,573	5,486	5,174	5,211	4,655
	500 ～ 999	872	833	717	762	778	983
	1,000 ～ 2,999	236	292	318	123	242	175
	3,000 ～ 5,999	71	110	84	48	39	
	6,000 ～ 9,999	38	12	5	1	6	72
	10,000 ～ 29,999	11	9	32	42	57	469
	30,000 ～	14	15	13	35	23	108
	合 計	6,772	6,844	6,655	6,185	6,356	6,462

資料：港湾統計

2. 2 入港船舶の隻数の設定

(1) 入港船舶隻数の設定の方針

次のフローに従い、入港船舶隻数を設定する。

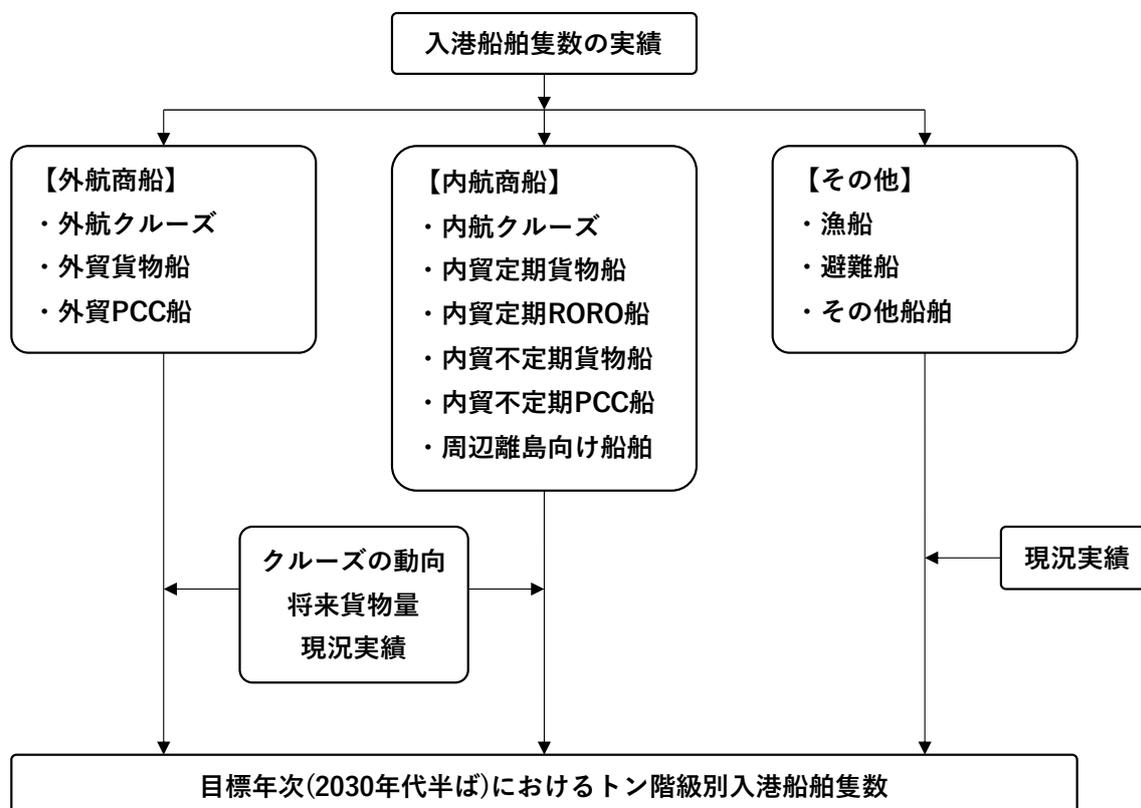


図 II. 2. 1 入港船舶隻数の設定フロー

(2) 入港船舶隻数の設定

目標年次における入港船舶隻数の設定値は、それぞれ次のとおりである。

表 II. 2. 2 入港船舶隻数の設定

		合計	30,000	10,000	6,000	3,000	1,000	500	5
			GT以上	GT以上	GT以上	GT以上	GT以上	GT以上	GT以上
R1 入港隻数	外航商船	55	23	0	1	1	30	0	0
	内航商船	3,540	0	56	0	35	124	737	2,588
	その他船舶	2,761	0	1	5	3	88	41	2,623
	合計	6,356	23	57	6	39	242	778	5,211
設定値	外航商船	332	108	75	48	0	101	0	0
	内航商船	3,230	0	394	24	0	14	973	1,825
	その他船舶	2,900	0	0	0	0	60	10	2,830
	合計	6,462	108	469	72	0	175	983	4,655

3 船舶乗降旅客数等

3.1 船舶乗降旅客数等の設定方針

次のフローに従い、船舶乗降旅客数等を設定する。

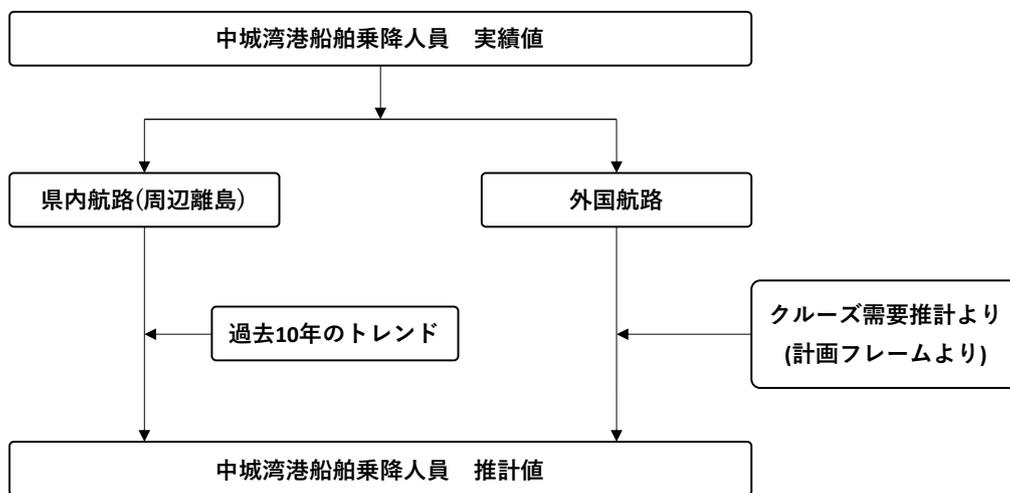


図 II. 3. 1 船舶乗降旅客数等の設定フロー

3. 2 船舶乗降旅客数等の設定

(1) 船舶乗降旅客数等の推移

津堅島や久高島を結んでいる定期フェリー・高速船とクルーズ船の利用者数の推移は、次のとおりである。

表 II. 3. 1 中城湾港の船舶乗降旅客数の推移 (千人)

		実績値										設定値
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	
外航商船	乗込	0	0	0	0	0	0	3	10	36	37	286
	上陸	0	0	0	0	0	0	3	10	36	37	286
内航商船	乗込	93	89	102	109	106	111	117	126	122	129	198
	上陸	92	89	103	109	106	111	117	126	122	129	198
計	乗込	93	89	102	109	106	111	121	136	159	159	484
	上陸	92	89	103	109	106	111	121	136	159	159	484
	計	186	178	205	218	212	222	241	272	317	317	967

(2) 船舶乗降旅客数等の設定

船舶乗降旅客数等の設定値と設定の考え方については、次のとおりである。

表 II. 3. 2 船舶乗降旅客数等の設定

地区名	種類	設定値	設定の考え方
新港地区	クルーズ船	57.2 万人	将来の沖縄訪問クルーズ需要のうち、中城湾港寄港分のクルーズ客数より設定
安座真地区、津堅地区	フェリー・高速船	39.5 万人	過去の利用実績をもとに、過去 10 年のトレンドにより設定
合 計		96.7 万人	